

科目名		作詞Ⅱ		担当講師	吉田 佳代	
講師実務経験		シンガーソングライター・作詞講師・ボイストレーナー				
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期 間	3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標					
3期		構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現を修得。				
4期		構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現と推敲を修得。				
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月5日	1番完成 ジャンルによる歌詞の特徴				
2	10月12日	2番完成 対句について				
3	10月19日	1番完成 呼びかけ法について				
4	10月26日	2番完成 個性的表現について				
5	11月2日	1番完成 アブストラクトについて				
6	11月9日	2番完成 時代を映す詞について				
7	11月16日	1番完成 造語にいて				
8	11月30日	2番完成 省略(言葉の重複について)				
9	12月7日	1番完成 語呂合わせについて				
10	12月14日	2番完成 象徴を用いた作品について				
11	1月18日	1番完成 常用漢字・当用漢字について				
12	1月25日	2番完成 出だしの重要性について				
13	2月1日	1番完成 アーティストに合わせた作品について				
14	2月8日	2番完成 作品のテーマを考える				
15	2月15日	1番2番完成 まとめ				
評価方法		実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト						
注意事項	45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		音楽基礎ⅡA				担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15	回	1回あたりの授業時間			135 分
期		修 得 目 標							
3期		スケールやコードの仕組みを修得する							
4期		より広く様々なコード進行を理解する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月6日	メジャーにおける主要和音、代理和音							
2	10月13日	メジャーにおける基本の終止形とその他の終止①							
3	10月20日	メジャーにおける基本の終止形とその他の終止②							
4	10月27日	コード進行分析①							
5	11月10日	コード進行分析②							
6	11月17日	マイナーの音階和音①							
7	11月24日	マイナーの音階和音②							
8	12月1日	マイナーにおける主要和音、代理和音							
9	12月8日	マイナーにおける実用的な和音							
10	12月15日	マイナーに於ける基本の終止形とその他の終止①							
11	1月19日	マイナーに於ける基本の終止形とその他の終止②							
12	1月26日	セカンダリードミナント①							
13	2月2日	セカンダリードミナント②							
14	2月9日	ドミナントの代理コード							
15	2月16日	総合的な復習							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		音楽基礎ⅡB				担当講師		谷津 祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	講義
期 間		3期・4期		総授業回数	15	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標							
3期		基本的なコード進行のしくみを理解した上で、意図的に活用する力を修得する							
4期		音楽の要素の多様性を理解した上で総合的な基礎知識を修得する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月6日	授業ガイダンス							
2	10月13日	コードの機能と進行について							
3	10月20日	基本コードパターン1 楽譜分析とアレンジ							
4	10月27日	基本コードパターン2 楽譜分析とアレンジ							
5	11月10日	基本コードパターン3 楽譜分析とアレンジ							
6	11月17日	基本コードパターン4 楽譜分析とアレンジ							
7	11月24日	基本コードパターン5 楽譜分析とアレンジ							
8	12月1日	複合的・応用的なコードパターンによる楽譜分析とアレンジ							
9	12月8日	ペンタトニックと派生するスケールについて							
10	12月15日	コードトーンとアボイドについて							
11	1月19日	モードについて							
12	1月26日	その他のスケールについて							
13	2月2日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ1							
14	2月9日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ2							
15	2月16日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ3							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		アンサンブルⅡ		担当講師		川畑統正/中田有紀/岸林大輔/松並姿帆	
講師実務経験		プロミュージシャン					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		405 分
期		修 得 目 標					
3期		ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成。					
4期		より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日 10月7日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン1					
2	10月13日 10月14日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン2					
3	10月20日 10月21日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン3					
4	10月27日 10月28日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン4					
5	11月4日 11月10日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン5					
6	11月11日 11月17日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン6					
7	11月18日 11月24日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン7					
8	11月25日 12月1日	K－1ライブに向けた最終チェック①					
9	12月2日 12月8日	K－2ライブに向けた最終チェック②					
10	12月15日 12月16日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン1					
11	1月19日 1月20日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン2					
12	1月26日 1月27日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン3					
13	2月2日 2月3日	クリニックイベントに向けた最終チェック①					
14	2月9日 2月10日	新入生歓迎ライブにむけて					
15	2月16日 2月17日	新入生歓迎ライブにむけて					
評価方法		実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		135時間中46時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		DTMⅡ				担当講師		谷津 祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	実習
期 間		3期・4期		総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標							
3期		前期の内容を基にさらに発展した操作を習得し、さまざまなジャンルの音楽についての基礎知識を習得する							
4期		これまでの学習内容を活用したアレンジ能力を習得する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月8日	授業ガイダンス							
2	10月15日	コード入力について1							
3	10月22日	コード入力について2							
4	10月29日	ゴーストノートについて1							
5	11月5日	ゴーストノートについて2							
6	11月12日	様々なアレンジパターンについて1							
7	11月19日	様々なアレンジパターンについて2							
8	11月26日	様々なアレンジパターンについて3							
9	12月3日	様々なアレンジパターンについて4							
10	12月17日	様々なアレンジパターンについて5							
11	1月21日	様々なアレンジパターンについて6							
12	1月28日	アレンジ課題制作1							
13	2月4日	アレンジ課題制作2							
14	2月18日	アレンジ課題制作3							
評価方法		実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		Key実習				担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習	
期 間		3期・4期		総授業回数	6	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標							
3期		鍵盤上でコードやリズムを理解し、様々な奏法やジャンルを習得する							
4期									
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月8日	ピアノストローク(8, 16)							
2	10月15日	色々なアルペジオ奏法							
3	11月5日	パラティロール(リズムのキメ)							
4	12月17日	リズムコンビネーション(リズムのキメ)							
5	1月21日	キーボードアンサンブル①							
6	2月4日	キーボードアンサンブル②							
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		18時間中7時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		スコアⅡ			担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師						
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	7	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標						
3期		性格なリズムや音の表記効率よく見やすい楽譜の作成						
4期		楽譜からのコードやリズムの理解						
回数	日程	【授 業 計 画】						
1	10月22日	進行譜、メロディー譜、歌詞カードなどの提出譜面について						
2	10月29日	移調、変わる調号、臨時記号などを理解						
3	11月12日	K－1Live提出譜面の準備、作成①						
4	11月19日	K－2Live提出譜面の準備、作成②						
5	11月26日	オープンのヴォイシングからのコード付け						
6	12月3日	大譜表からのコード付け						
7	1月28日	K－1Liveで担当した曲の譜面作						
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト								
注意事項		21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名		ヴォーカル実習Ⅱ		担当講師		中田 有紀	
講師実務経験		ヴォーカルトレーナー					
対象学年		1 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		4度～5度までのオルタードを含んだメロディを修得する					
4期		ピッチ、リズム、ブレス等各自に合った歌い方でのソルフェージュを修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	5度ソルフェージュ(メジャースケール)					
2	10月9日	5度ソルフェージュ(メジャースケール)、個別での歌唱					
3	10月12日	5度ソルフェージュ(マイナースケール)					
4	10月16日	5度ソルフェージュ(マイナースケール)、ハーモニー付					
5	10月19日	子音の発音(R. L. V. T. 等)、リエゾン、ブレス					
6	10月23日	録音などしながら、評価しあう					
7	10月26日	さらにハーモニー等つけ、コーラスワークを学ぶ					
8	10月30日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)					
9	11月2日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)、個別での歌唱					
10	11月6日	開く母音、閉じる母音、無声音、有声音					
11	11月9日	コーラスワーク、マイクワーク					
12	11月13日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)					
13	11月16日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)、個別での歌唱					
14	11月20日	オリジナル曲メイク、マイクワーク等					
15	11月27日	オリジナル曲メイク、マイクワーク等					
16	11月30日	4度ソルフェージュ(オルタード)、半音階					
17	12月4日	8分、16分、シンコペーションの読み取り等					
18	12月7日	母音、鼻音、鼻濁音などのトレーニング					
19	12月14日	4度ソルフェージュ(オルタード)、半音階					
20	12月18日	シンコペーションを用いたリズムをハンドクラップ等しながら歌う					
21	1月18日	4度ソルフェージュ(オルタード)、自分に合ったキーで歌う					
22	1月22日	ソルフェージュを用いて、地声・ミドルボイス等の習得度合いの確認					
23	1月25日	3度ソルフェージュ(オルタード)を用いて正確に音程をとる					
24	1月29日	3度ソルフェージュ(オルタード)を用いてフレージングや声色を変化させる					
25	2月1日	エッジボイスで声帯閉鎖を意識し、加減をコントロールする					
26	2月5日	鼻腔共鳴を強く意識するトレーニング					
27	2月8日	英詞曲を用いて単語ごとでなく、より強くフレーズを意識して歌う					
28	2月12日	英詞曲を用いてコーラスもつけ、相手とのニュアンスを意識する					
29	2月15日	日本語曲を用いて、ビートに合わせたアクセントの位置、休符のつまりなどを意識する					
30	2月19日	課題曲を用いてフレーズ、ビートに合った声色、ニュアンスで歌う					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ギター実習Ⅱ		担当講師		川畑 統正	
講師実務経験		ギタリスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		1, 2期の内容をさらに深め、知識、技術面の基礎力を修得する。					
4期		これまでの基礎に様々な形で応用力、オリジナル性を付加していく力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	読譜トレーニング(毎回継続)					
2	10月9日	コードカッティング 8ビート～16ビートについて					
3	10月12日	コードカッティングの発展、応用について					
4	10月16日	スケール メジャー、マイナー					
5	10月19日	スケールの応用					
6	10月23日	スケールの応用Ⅱ					
7	10月26日	ハーモニックマイナースケール					
8	10月30日	メロディックマイナースケール					
9	11月2日	課題曲(ワンコード)によるリズムとスケールの実践					
10	11月6日	トライアド					
11	11月9日	トライアドの考え方の発展、応用					
12	11月13日	ブルース エクササイズ					
13	11月16日	ブルース エクササイズⅡ					
14	11月20日	ブルース エクササイズⅢ					
15	11月27日	ダイアトニックコードについて					
16	11月30日	アペイラブルノートスケールについて					
17	12月4日	コンピング solo					
18	12月7日	ミクソリディアンスケールについて					
19	12月14日	ドリアンスケールについて					
20	12月18日	オルタードスケール各種					
21	1月18日	ジャズ ブルース					
22	1月22日	ジャズ ブルースⅡ					
23	1月25日	ジャズ ブルースⅢ					
24	1月29日	ジャズ ブルースⅣ					
25	2月1日	スタイル研究Ⅰ					
26	2月5日	スタイル研究Ⅱ					
27	2月8日	スタイル研究Ⅲ					
28	2月12日	スタイル研究Ⅳ					
29	2月15日	Q&Aレクチャー					
30	2月19日	まとめ					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ベース実習Ⅱ		担当講師		田中 久雄	
講師実務経験		ベーシスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	ベース専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		プロ・ミュージシャンにとって必要とされるテクニック、理論、リズム、ハーモニー、グルーブ、ラインメイク等の基礎技術を修得する。					
4期		基礎技術を基に、実際に演奏する技術を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	ウォーキングベースラインの組み立てー1 ウッドベース/弓					
2	10月9日	ウォーキングベースラインの組み立てー2 2beat～4beat					
3	10月12日	ウォーキングベースライン(1フィンガー) "Walk Between Raindrops"					
4	10月16日	ブルース形式(1or2フィンガー) "Stormy Monday Blues"					
5	10月19日	スタッカート/テヌート、スライド "Stormy Monday Blues"					
6	10月23日	コード/アルペジオ(1or2フィンガー) "Hotel California"					
7	10月26日	弦をクロスしたピッキング "Hotel California"					
8	10月30日	変則チューニング "You Give Love a Bad Name"					
9	11月2日	ペントニック(パワーコード) "You Give Love a Bad Name"					
10	11月6日	ヴィブラート、ハンマリング、スライド(ピック) "Eat The Rich"					
11	11月9日	スラッピングとフィンガーの組み合わせ "Love Rollercoaster"					
12	11月13日	フレットレスベース "Everytime You Go Away"					
13	11月16日	ダブルストップ、ヴィブラート "Everytime You Go Away"					
14	11月20日	フィンガー(1. 2) "Layla"					
15	11月27日	スタッカート、曲の構成 "Layla"					
16	11月30日	サルサの曲でのアドリブ(インプロヴィゼーション)「Latin」					
17	12月4日	サルサの曲でのアドリブ(インプロヴィゼーション)「Latin」					
18	12月7日	2フィンガー "Sir Duke"					
19	12月14日	ユニゾンフレーズ "Sir Duke"					
20	12月18日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、2フィンガー) "What's Going On"					
21	1月18日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、3フィンガー) "What's Going On"					
22	1月22日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、4フィンガー) "What's Going On"					
23	1月25日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、5フィンガー) "What's Going On"					
24	1月29日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、6フィンガー) "What's Going On"					
25	2月1日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、7フィンガー) "What's Going On"					
26	2月5日	前期からの総復習を行う					
27	2月8日	前期からの総復習を行う					
28	2月12日	前期からの総復習を行う					
29	2月15日	定期試験の予告と復習を行う					
30	2月19日	定期試験の予告と復習を行う					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ドラム実習Ⅱ		担当講師		岸林 大輔	
講師実務経験		演奏家、ドラム講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ドラム専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		前期に修得した技術の発展、応用					
4期		実践、応用による安定した基礎技術の修得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	ガイダンス 前期修得技術の確認#1					
2	10月9日	前期修得技術の確認#2					
3	10月12日	Dr.Set Groove#1、セットコーディネーション#1 Rudiments Workout					
4	10月16日	Dr.Set Groove#2、セットコーディネーション#2 Rudiments Workout					
5	10月19日	Dr.Set Groove#3、セットコーディネーション#3 Rudiments Workout					
6	10月23日	Dr.Set Groove#4、セットコーディネーション#4 Rudiments Workout					
7	10月26日	Dr.Set Groove#5、セットコーディネーション#5 Rudiments Workout					
8	10月30日	Dr.Set Groove#6、セットコーディネーション#6 Rudiments Workout					
9	11月2日	Dr.Set Groove#7、セットコーディネーション#8 Rudiments Workout					
10	11月6日	Dr.Set Groove#8、セットコーディネーション#9 Rudiments Workout					
11	11月9日	Dr.Set Groove#9、セットコーディネーション#10 Rudiments Workout					
12	11月13日	Dr.Set Swing&World#1、セットコーディネーション#11 Rudiments Workout					
13	11月16日	Dr.Set Swing&World#2、セットコーディネーション#12 Rudiments Workout					
14	11月20日	Dr.Set Swing&World#3、セットコーディネーション#13 Rudiments Workout					
15	11月27日	Dr.Set Swing&World#4、セットコーディネーション#14 Rudiments Workout					
16	11月30日	Dr.Set Swing&World#5、セットコーディネーション#15 Rudiments Workout					
17	12月4日	Dr.Set Swing&World#6、セットコーディネーション#16 Rudiments Workout					
18	12月7日	Dr.Set Swing&World#7、セットコーディネーション#17 Rudiments Workout					
19	12月14日	Dr.Set Swing&World#8、セットコーディネーション#18 Rudiments Workout					
20	12月18日	Dr.Set Swing&World#9、セットコーディネーション#19 Rudiments Workout					
21	1月18日	Dr.Set Swing&World#10、セットコーディネーション#20 Rudiments Workout					
22	1月22日	Dr.Set Swing&World#11、セットコーディネーション#21 Rudiments Workout					
23	1月25日	Dr.Set Swing&World#12、セットコーディネーション#22 Rudiments Workout					
24	1月29日	Dr.Set Swing&World#13、セットコーディネーション#23 Rudiments Workout					
25	2月1日	Groove vs Swing #1、試験対策					
26	2月5日	Groove vs Swing #1、試験対策					
27	2月8日	Groove vs Swing #1、試験対策					
28	2月12日	Groove vs Swing #1、試験対策					
29	2月15日	Groove vs Swing #1試験対策					
30	2月19日	まとめ					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		作詞Ⅱ		担当講師		吉田 佳代	
講師実務経験		シンガーソングライター・作詞講師・ボイストレーナー					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現を修得。					
4期		構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現と推敲を修得。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	1番完成 ジャンルによる歌詞の特徴					
2	10月12日	2番完成 対句について					
3	10月19日	1番完成 呼びかけ法について					
4	10月26日	2番完成 個性的表現について					
5	11月2日	1番完成 アブストラクトについて					
6	11月9日	2番完成 時代を映す詞について					
7	11月16日	1番完成 造語にいて					
8	11月30日	2番完成 省略(言葉の重複について)					
9	12月7日	1番完成 語呂合わせについて					
10	12月14日	2番完成 象徴を用いた作品について					
11	1月18日	1番完成 常用漢字・当用漢字について					
12	1月25日	2番完成 出だしの重要性について					
13	2月1日	1番完成 アーティストに合わせた作品について					
14	2月8日	2番完成 作品のテーマを考える					
15	2月15日	1番2番完成 まとめ					
評価方法		実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		音楽基礎ⅡA				担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15	回	1回あたりの授業時間			135 分
期		修 得 目 標							
3期		スケールやコードの仕組みを修得する							
4期		より広く様々なコード進行を理解する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月6日	メジャーにおける主要和音、代理和音							
2	10月13日	メジャーにおける基本の終止形とその他の終止①							
3	10月20日	メジャーにおける基本の終止形とその他の終止②							
4	10月27日	コード進行分析①							
5	11月10日	コード進行分析②							
6	11月17日	マイナーの音階和音①							
7	11月24日	マイナーの音階和音②							
8	12月1日	マイナーにおける主要和音、代理和音							
9	12月8日	マイナーにおける実用的な和音							
10	12月15日	マイナーに於ける基本の終止形とその他の終止①							
11	1月19日	マイナーに於ける基本の終止形とその他の終止②							
12	1月26日	セカンダリードミナント①							
13	2月2日	セカンダリードミナント②							
14	2月9日	ドミナントの代理コード							
15	2月16日	総合的な復習							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		音楽基礎ⅡB				担当講師		谷津 祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	講義
期 間		3期・4期		総授業回数	15	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標							
3期		基本的なコード進行のしくみを理解した上で、意図的に活用する力を修得する							
4期		音楽の要素の多様性を理解した上で総合的な基礎知識を修得する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月6日	授業ガイダンス							
2	10月13日	コードの機能と進行について							
3	10月20日	基本コードパターン1 楽譜分析とアレンジ							
4	10月27日	基本コードパターン2 楽譜分析とアレンジ							
5	11月10日	基本コードパターン3 楽譜分析とアレンジ							
6	11月17日	基本コードパターン4 楽譜分析とアレンジ							
7	11月24日	基本コードパターン5 楽譜分析とアレンジ							
8	12月1日	複合的・応用的なコードパターンによる楽譜分析とアレンジ							
9	12月8日	ペンタトニックと派生するスケールについて							
10	12月15日	コードトーンとアボイドについて							
11	1月19日	モードについて							
12	1月26日	その他のスケールについて							
13	2月2日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ1							
14	2月9日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ2							
15	2月16日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ3							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		アンサンブルⅡ		担当講師	川畑統正/中田有紀/岸林大輔/松並姿帆	
講師実務経験		プロミュージシャン				
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		405 分
期		修 得 目 標				
3期		ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成。				
4期		より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上。				
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月6日 10月7日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン1				
2	10月13日 10月14日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン2				
3	10月20日 10月21日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン3				
4	10月27日 10月28日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン4				
5	11月4日 11月10日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン5				
6	11月11日 11月17日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン6				
7	11月18日 11月24日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン7				
8	11月25日 12月1日	K－1ライブに向けた最終チェック①				
9	12月2日 12月8日	K－2ライブに向けた最終チェック②				
10	12月15日 12月16日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン1				
11	1月19日 1月20日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン2				
12	1月26日 1月27日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン3				
13	2月2日 2月3日	クリニックイベントに向けた最終チェック①				
14	2月9日 2月10日	新入生歓迎ライブにむけて				
15	2月16日 2月17日	新入生歓迎ライブにむけて				
評価方法		実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト						
注意事項		135時間中46時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名		DTMⅡ				担当講師		谷津 祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	実習
期 間		3期・4期		総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標							
3期		前期の内容を基にさらに発展した操作を習得し、さまざまなジャンルの音楽についての基礎知識を習得する							
4期		これまでの学習内容を活用したアレンジ能力を習得する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月8日	授業ガイダンス							
2	10月15日	コード入力について1							
3	10月22日	コード入力について2							
4	10月29日	ゴーストノートについて1							
5	11月5日	ゴーストノートについて2							
6	11月12日	様々なアレンジパターンについて1							
7	11月19日	様々なアレンジパターンについて2							
8	11月26日	様々なアレンジパターンについて3							
9	12月3日	様々なアレンジパターンについて4							
10	12月17日	様々なアレンジパターンについて5							
11	1月21日	様々なアレンジパターンについて6							
12	1月28日	アレンジ課題制作1							
13	2月4日	アレンジ課題制作2							
14	2月18日	アレンジ課題制作3							
評価方法		実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		Key実習				担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	実習
期 間		3期・4期		総授業回数	6	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標							
3期		鍵盤上でコードやリズムを理解し、様々な奏法やジャンルを習得する							
4期									
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月8日	ピアノストローク(8, 16)							
2	10月15日	色々なアルペジオ奏法							
3	11月5日	パラティロール(リズムのキメ)							
4	12月17日	リズムコンビネーション(リズムのキメ)							
5	1月21日	キーボードアンサンブル①							
6	2月4日	キーボードアンサンブル②							
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		18時間中7時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		スコアⅡ			担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師						
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	7	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標						
3期		性格なリズムや音の表記効率よく見やすい楽譜の作成						
4期		楽譜からのコードやリズムの理解						
回数	日程	【授 業 計 画】						
1	10月22日	進行譜、メロディー譜、歌詞カードなどの提出譜面について						
2	10月29日	移調、変わる調号、臨時記号などを理解						
3	11月12日	K－1Live提出譜面の準備、作成①						
4	11月19日	K－2Live提出譜面の準備、作成②						
5	11月26日	オープンのヴォイスिंगからのコード付け						
6	12月3日	大譜表からのコード付け						
7	1月28日	K－1Liveで担当した曲の譜面作						
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト								
注意事項		21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名		ヴォーカル実習Ⅱ		担当講師		中田 有紀	
講師実務経験		ヴォーカルトレーナー					
対象学年		1 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		4度～5度までのオルタードを含んだメロディを修得する					
4期		ピッチ、リズム、ブレス等各自に合った歌い方でのソルフェージュを修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	5度ソルフェージュ(メジャースケール)					
2	10月9日	5度ソルフェージュ(メジャースケール)、個別での歌唱					
3	10月12日	5度ソルフェージュ(マイナースケール)					
4	10月16日	5度ソルフェージュ(マイナースケール)、ハーモニー付					
5	10月19日	子音の発音(R. L. V. T. 等)、リエゾン、ブレス					
6	10月23日	録音などしながら、評価しあう					
7	10月26日	さらにハーモニー等つけ、コーラスワークを学ぶ					
8	10月30日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)					
9	11月2日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)、個別での歌唱					
10	11月6日	開く母音、閉じる母音、無声音、有声音					
11	11月9日	コーラスワーク、マイクワーク					
12	11月13日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)					
13	11月16日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)、個別での歌唱					
14	11月20日	オリジナル曲メイク、マイクワーク等					
15	11月27日	オリジナル曲メイク、マイクワーク等					
16	11月30日	4度ソルフェージュ(オルタード)、半音階					
17	12月4日	8分、16分、シンコペーションの読み取り等					
18	12月7日	母音、鼻音、鼻濁音などのトレーニング					
19	12月14日	4度ソルフェージュ(オルタード)、半音階					
20	12月18日	シンコペーションを用いたリズムをハンドクラップ等しながら歌う					
21	1月18日	4度ソルフェージュ(オルタード)、自分に合ったキーで歌う					
22	1月22日	ソルフェージュを用いて、地声・ミドルボイス等の習得度合いの確認					
23	1月25日	3度ソルフェージュ(オルタード)を用いて正確に音程をとる					
24	1月29日	3度ソルフェージュ(オルタード)を用いてフレージングや声色を変化させる					
25	2月1日	エッジボイスで声帯閉鎖を意識し、加減をコントロールする					
26	2月5日	鼻腔共鳴を強く意識するトレーニング					
27	2月8日	英詞曲を用いて単語ごとでなく、より強くフレーズを意識して歌う					
28	2月12日	英詞曲を用いてコーラスもつけ、相手とのニュアンスを意識する					
29	2月15日	日本語曲を用いて、ビートに合わせたアクセントの位置、休符のつまりなどを意識する					
30	2月19日	課題曲を用いてフレーズ、ビートに合った声色、ニュアンスで歌う					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ギター実習Ⅱ		担当講師		川畑 統正	
講師実務経験		ギタリスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		1, 2期の内容をさらに深め、知識、技術面の基礎力を修得する。					
4期		これまでの基礎に様々な形で応用力、オリジナル性を付加していく力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	読譜トレーニング(毎回継続)					
2	10月9日	コードカッティング 8ビート～16ビートについて					
3	10月12日	コードカッティングの発展、応用について					
4	10月16日	スケール メジャー、マイナー					
5	10月19日	スケールの応用					
6	10月23日	スケールの応用Ⅱ					
7	10月26日	ハーモニックマイナースケール					
8	10月30日	メロディックマイナースケール					
9	11月2日	課題曲(ワンコード)によるリズムとスケールの実践					
10	11月6日	トライアド					
11	11月9日	トライアドの考え方の発展、応用					
12	11月13日	ブルース エクササイズ					
13	11月16日	ブルース エクササイズⅡ					
14	11月20日	ブルース エクササイズⅢ					
15	11月27日	ダイアトニックコードについて					
16	11月30日	アペイラブルノートスケールについて					
17	12月4日	コンピング solo					
18	12月7日	ミクソリディアンスケールについて					
19	12月14日	ドリアンスケールについて					
20	12月18日	オルタードスケール各種					
21	1月18日	ジャズ ブルース					
22	1月22日	ジャズ ブルースⅡ					
23	1月25日	ジャズ ブルースⅢ					
24	1月29日	ジャズ ブルースⅣ					
25	2月1日	スタイル研究Ⅰ					
26	2月5日	スタイル研究Ⅱ					
27	2月8日	スタイル研究Ⅲ					
28	2月12日	スタイル研究Ⅳ					
29	2月15日	Q&Aレクチャー					
30	2月19日	まとめ					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ベース実習Ⅱ		担当講師		田中 久雄	
講師実務経験		ベーシスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	ベース専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		プロ・ミュージシャンにとって必要とされるテクニック、理論、リズム、ハーモニー、グルーブ、ラインメイク等の基礎技術を修得する。					
4期		基礎技術を基に、実際に演奏する技術を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	ウォーキングベースラインの組み立てー1 ウッドベース/弓					
2	10月9日	ウォーキングベースラインの組み立てー2 2beat～4beat					
3	10月12日	ウォーキングベースライン(1フィンガー) “Walk Between Raindrops”					
4	10月16日	ブルース形式(1or2フィンガー) “Stormy Monday Blues”					
5	10月19日	スタッカート/テヌート、スライド “Stormy Monday Blues”					
6	10月23日	コード/アルペジオ(1or2フィンガー) “Hotel California”					
7	10月26日	弦をクロスしたピッキング “Hotel California”					
8	10月30日	変則チューニング “You Give Love a Bad Name”					
9	11月2日	ペントニック(パワーコード) “You Give Love a Bad Name”					
10	11月6日	ヴィブラート、ハンマリング、スライド(ピック) “Eat The Rich”					
11	11月9日	スラッピングとフィンガーの組み合わせ “Love Rollercoaster”					
12	11月13日	フレットレスベース “Everytime You Go Away”					
13	11月16日	ダブルストップ、ヴィブラート “Everytime You Go Away”					
14	11月20日	フィンガー(1. 2) “Layla”					
15	11月27日	スタッカート、曲の構成 “Layla”					
16	11月30日	サルサの曲でのアドリブ(インプロヴィゼーション)「Latin」					
17	12月4日	サルサの曲でのアドリブ(インプロヴィゼーション)「Latin」					
18	12月7日	2フィンガー “Sir Duke”					
19	12月14日	ユニゾンフレーズ “Sir Duke”					
20	12月18日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、2フィンガー) “What’s Going On”					
21	1月18日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、3フィンガー) “What’s Going On”					
22	1月22日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、4フィンガー) “What’s Going On”					
23	1月25日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、5フィンガー) “What’s Going On”					
24	1月29日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、6フィンガー) “What’s Going On”					
25	2月1日	同曲の2バージョンでグルーブの相違(1、7フィンガー) “What’s Going On”					
26	2月5日	前期からの総復習を行う					
27	2月8日	前期からの総復習を行う					
28	2月12日	前期からの総復習を行う					
29	2月15日	定期試験の予告と復習を行う					
30	2月19日	定期試験の予告と復習を行う					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ドラム実習Ⅱ		担当講師		岸林 大輔	
講師実務経験		演奏家、ドラム講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ドラム専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		前期に修得した技術の発展、応用					
4期		実践、応用による安定した基礎技術の修得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	ガイダンス 前期修得技術の確認#1					
2	10月9日	前期修得技術の確認#2					
3	10月12日	Dr.Set Groove#1、セットコーディネーション#1 Rudiments Workout					
4	10月16日	Dr.Set Groove#2、セットコーディネーション#2 Rudiments Workout					
5	10月19日	Dr.Set Groove#3、セットコーディネーション#3 Rudiments Workout					
6	10月23日	Dr.Set Groove#4、セットコーディネーション#4 Rudiments Workout					
7	10月26日	Dr.Set Groove#5、セットコーディネーション#5 Rudiments Workout					
8	10月30日	Dr.Set Groove#6、セットコーディネーション#6 Rudiments Workout					
9	11月2日	Dr.Set Groove#7、セットコーディネーション#8 Rudiments Workout					
10	11月6日	Dr.Set Groove#8、セットコーディネーション#9 Rudiments Workout					
11	11月9日	Dr.Set Groove#9、セットコーディネーション#10 Rudiments Workout					
12	11月13日	Dr.Set Swing&World#1、セットコーディネーション#11 Rudiments Workout					
13	11月16日	Dr.Set Swing&World#2、セットコーディネーション#12 Rudiments Workout					
14	11月20日	Dr.Set Swing&World#3、セットコーディネーション#13 Rudiments Workout					
15	11月27日	Dr.Set Swing&World#4、セットコーディネーション#14 Rudiments Workout					
16	11月30日	Dr.Set Swing&World#5、セットコーディネーション#15 Rudiments Workout					
17	12月4日	Dr.Set Swing&World#6、セットコーディネーション#16 Rudiments Workout					
18	12月7日	Dr.Set Swing&World#7、セットコーディネーション#17 Rudiments Workout					
19	12月14日	Dr.Set Swing&World#8、セットコーディネーション#18 Rudiments Workout					
20	12月18日	Dr.Set Swing&World#9、セットコーディネーション#19 Rudiments Workout					
21	1月18日	Dr.Set Swing&World#10、セットコーディネーション#20 Rudiments Workout					
22	1月22日	Dr.Set Swing&World#11、セットコーディネーション#21 Rudiments Workout					
23	1月25日	Dr.Set Swing&World#12、セットコーディネーション#22 Rudiments Workout					
24	1月29日	Dr.Set Swing&World#13、セットコーディネーション#23 Rudiments Workout					
25	2月1日	Groove vs Swing #1、試験対策					
26	2月5日	Groove vs Swing #1、試験対策					
27	2月8日	Groove vs Swing #1、試験対策					
28	2月12日	Groove vs Swing #1、試験対策					
29	2月15日	Groove vs Swing #1試験対策					
30	2月19日	まとめ					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		作詞Ⅱ		担当講師		吉田 佳代	
講師実務経験		シンガーソングライター・作詞講師・ボイストレーナー					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現を修得。					
4期		構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現と推敲を修得。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	1番完成 ジャンルによる歌詞の特徴					
2	10月12日	2番完成 対句について					
3	10月19日	1番完成 呼びかけ法について					
4	10月26日	2番完成 個性的表現について					
5	11月2日	1番完成 アブストラクトについて					
6	11月9日	2番完成 時代を映す詞について					
7	11月16日	1番完成 造語にいて					
8	11月30日	2番完成 省略(言葉の重複について)					
9	12月7日	1番完成 語呂合わせについて					
10	12月14日	2番完成 象徴を用いた作品について					
11	1月18日	1番完成 常用漢字・当用漢字について					
12	1月25日	2番完成 出だしの重要性について					
13	2月1日	1番完成 アーティストに合わせた作品について					
14	2月8日	2番完成 作品のテーマを考える					
15	2月15日	1番2番完成 まとめ					
評価方法		実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		音楽基礎ⅡA				担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15	回	1回あたりの授業時間			135 分
期		修 得 目 標							
3期		スケールやコードの仕組みを修得する							
4期		より広く様々なコード進行を理解する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月6日	メジャーにおける主要和音、代理和音							
2	10月13日	メジャーにおける基本の終止形とその他の終止①							
3	10月20日	メジャーにおける基本の終止形とその他の終止②							
4	10月27日	コード進行分析①							
5	11月10日	コード進行分析②							
6	11月17日	マイナーの音階和音①							
7	11月24日	マイナーの音階和音②							
8	12月1日	マイナーにおける主要和音、代理和音							
9	12月8日	マイナーにおける実用的な和音							
10	12月15日	マイナーに於ける基本の終止形とその他の終止①							
11	1月19日	マイナーに於ける基本の終止形とその他の終止②							
12	1月26日	セカンダリードミナント①							
13	2月2日	セカンダリードミナント②							
14	2月9日	ドミナントの代理コード							
15	2月16日	総合的な復習							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		音楽基礎ⅡB				担当講師		谷津 祐子		
講師実務経験		大学非常勤講師								
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義		
期 間		3期・4期		総授業回数	15	回	1回あたりの授業時間		135	分
期		修 得 目 標								
3期		基本的なコード進行のしくみを理解した上で、意図的に活用する力を修得する								
4期		音楽の要素の多様性を理解した上で総合的な基礎知識を修得する								
回数	日程	【授 業 計 画】								
1	10月6日	授業ガイダンス								
2	10月13日	コードの機能と進行について								
3	10月20日	基本コードパターン1 楽譜分析とアレンジ								
4	10月27日	基本コードパターン2 楽譜分析とアレンジ								
5	11月10日	基本コードパターン3 楽譜分析とアレンジ								
6	11月17日	基本コードパターン4 楽譜分析とアレンジ								
7	11月24日	基本コードパターン5 楽譜分析とアレンジ								
8	12月1日	複合的・応用的なコードパターンによる楽譜分析とアレンジ								
9	12月8日	ペンタトニックと派生するスケールについて								
10	12月15日	コードトーンとアボイドについて								
11	1月19日	モードについて								
12	1月26日	その他のスケールについて								
13	2月2日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ1								
14	2月9日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ2								
15	2月16日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ3								
評価方法		定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）								
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)								
テキスト										
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）								

科目名		アンサンブルⅡ		担当講師	川畑統正/中田有紀/岸林大輔/松並姿帆	
講師実務経験		プロミュージシャン				
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		405 分
期		修 得 目 標				
3期		ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成。				
4期		より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上。				
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月6日 10月7日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン1				
2	10月13日 10月14日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン2				
3	10月20日 10月21日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン3				
4	10月27日 10月28日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン4				
5	11月4日 11月10日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン5				
6	11月11日 11月17日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン6				
7	11月18日 11月24日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン7				
8	11月25日 12月1日	K－1ライブに向けた最終チェック①				
9	12月2日 12月8日	K－2ライブに向けた最終チェック②				
10	12月15日 12月16日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン1				
11	1月19日 1月20日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン2				
12	1月26日 1月27日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン3				
13	2月2日 2月3日	クリニックイベントに向けた最終チェック①				
14	2月9日 2月10日	新入生歓迎ライブにむけて				
15	2月16日 2月17日	新入生歓迎ライブにむけて				
評価方法		実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト						
注意事項		135時間中46時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名		DTMⅡ				担当講師		谷津 祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	実習
期 間		3期・4期		総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標							
3期		前期の内容を基にさらに発展した操作を習得し、さまざまなジャンルの音楽についての基礎知識を習得する							
4期		これまでの学習内容を活用したアレンジ能力を習得する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月8日	授業ガイダンス							
2	10月15日	コード入力について1							
3	10月22日	コード入力について2							
4	10月29日	ゴーストノートについて1							
5	11月5日	ゴーストノートについて2							
6	11月12日	様々なアレンジパターンについて1							
7	11月19日	様々なアレンジパターンについて2							
8	11月26日	様々なアレンジパターンについて3							
9	12月3日	様々なアレンジパターンについて4							
10	12月17日	様々なアレンジパターンについて5							
11	1月21日	様々なアレンジパターンについて6							
12	1月28日	アレンジ課題制作1							
13	2月4日	アレンジ課題制作2							
14	2月18日	アレンジ課題制作3							
評価方法		実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		Key実習				担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	実習
期 間		3期・4期		総授業回数	6	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標							
3期		鍵盤上でコードやリズムを理解し、様々な奏法やジャンルを習得する							
4期									
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月8日	ピアノストローク(8, 16)							
2	10月15日	色々なアルペジオ奏法							
3	11月5日	パラティロール(リズムのキメ)							
4	12月17日	リズムコンビネーション(リズムのキメ)							
5	1月21日	キーボードアンサンブル①							
6	2月4日	キーボードアンサンブル②							
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		18時間中7時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		スコアⅡ				担当講師		水口 陽子		
講師実務経験		ピアノ講師								
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習		
期 間		3期・4期		総授業回数	7	回	1回あたりの授業時間		135	分
期		修 得 目 標								
3期		性格なリズムや音の表記効率よく見やすい楽譜の作成								
4期		楽譜からのコードやリズムの理解								
回数	日程	【授 業 計 画】								
1	10月22日	進行譜、メロディー譜、歌詞カードなどの提出譜面について								
2	10月29日	移調、変わる調号、臨時記号などを理解								
3	11月12日	K－1Live提出譜面の準備、作成①								
4	11月19日	K－2Live提出譜面の準備、作成②								
5	11月26日	オープンのヴォイスिंगからのコード付け								
6	12月3日	大譜表からのコード付け								
7	1月28日	K－1Liveで担当した曲の譜面作								
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)								
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)								
テキスト										
注意事項		21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)								

科目名		ヴォーカル実習Ⅱ		担当講師		中田 有紀	
講師実務経験		ヴォーカルトレーナー					
対象学年		1 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		4度～5度までのオルタードを含んだメロディを修得する					
4期		ピッチ、リズム、ブレス等各自に合った歌い方でのソルフェージュを修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	5度ソルフェージュ(メジャースケール)					
2	10月9日	5度ソルフェージュ(メジャースケール)、個別での歌唱					
3	10月12日	5度ソルフェージュ(マイナースケール)					
4	10月16日	5度ソルフェージュ(マイナースケール)、ハーモニー付					
5	10月19日	子音の発音(R. L. V. T. 等)、リエゾン、ブレス					
6	10月23日	録音などしながら、評価しあう					
7	10月26日	さらにハーモニー等つけ、コーラスワークを学ぶ					
8	10月30日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)					
9	11月2日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)、個別での歌唱					
10	11月6日	開く母音、閉じる母音、無声音、有声音					
11	11月9日	コーラスワーク、マイクワーク					
12	11月13日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)					
13	11月16日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)、個別での歌唱					
14	11月20日	オリジナル曲メイク、マイクワーク等					
15	11月27日	オリジナル曲メイク、マイクワーク等					
16	11月30日	4度ソルフェージュ(オルタード)、半音階					
17	12月4日	8分、16分、シンコペーションの読み取り等					
18	12月7日	母音、鼻音、鼻濁音などのトレーニング					
19	12月14日	4度ソルフェージュ(オルタード)、半音階					
20	12月18日	シンコペーションを用いたリズムをハンドクラップ等しながら歌う					
21	1月18日	4度ソルフェージュ(オルタード)、自分に合ったキーで歌う					
22	1月22日	ソルフェージュを用いて、地声・ミドルボイス等の習得度合いの確認					
23	1月25日	3度ソルフェージュ(オルタード)を用いて正確に音程をとる					
24	1月29日	3度ソルフェージュ(オルタード)を用いてフレージングや声色を変化させる					
25	2月1日	エッジボイスで声帯閉鎖を意識し、加減をコントロールする					
26	2月5日	鼻腔共鳴を強く意識するトレーニング					
27	2月8日	英詞曲を用いて単語ごとでなく、より強くフレーズを意識して歌う					
28	2月12日	英詞曲を用いてコーラスもつけ、相手とのニュアンスを意識する					
29	2月15日	日本語曲を用いて、ビートに合わせたアクセントの位置、休符のつまりなどを意識する					
30	2月19日	課題曲を用いてフレーズ、ビートに合った声色、ニュアンスで歌う					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ギター実習Ⅱ		担当講師		川畑 統正	
講師実務経験		ギタリスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		1, 2期の内容をさらに深め、知識、技術面の基礎力を修得する。					
4期		これまでの基礎に様々な形で応用力、オリジナル性を付加していく力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	読譜トレーニング(毎回継続)					
2	10月9日	コードカッティング 8ビート～16ビートについて					
3	10月12日	コードカッティングの発展、応用について					
4	10月16日	スケール メジャー、マイナー					
5	10月19日	スケールの応用					
6	10月23日	スケールの応用Ⅱ					
7	10月26日	ハーモニックマイナースケール					
8	10月30日	メロディックマイナースケール					
9	11月2日	課題曲(ワンコード)によるリズムとスケールの実践					
10	11月6日	トライアド					
11	11月9日	トライアドの考え方の発展、応用					
12	11月13日	ブルース エクササイズ					
13	11月16日	ブルース エクササイズⅡ					
14	11月20日	ブルース エクササイズⅢ					
15	11月27日	ダイアトニックコードについて					
16	11月30日	アペイラブルノートスケールについて					
17	12月4日	コンピング solo					
18	12月7日	ミクソリディアンスケールについて					
19	12月14日	ドリアンスケールについて					
20	12月18日	オルタードスケール各種					
21	1月18日	ジャズ ブルース					
22	1月22日	ジャズ ブルースⅡ					
23	1月25日	ジャズ ブルースⅢ					
24	1月29日	ジャズ ブルースⅣ					
25	2月1日	スタイル研究Ⅰ					
26	2月5日	スタイル研究Ⅱ					
27	2月8日	スタイル研究Ⅲ					
28	2月12日	スタイル研究Ⅳ					
29	2月15日	Q&Aレクチャー					
30	2月19日	まとめ					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ベース実習Ⅱ		担当講師		田中 久雄	
講師実務経験		ベアシスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	ベース専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		プロ・ミュージシャンにとって必要とされるテクニック、理論、リズム、ハーモニー、グルーヴ、ラインメイク等の基礎技術を修得する。					
4期		基礎技術を基に、実際に演奏する技術を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	ウォーキングベースラインの組み立てー1 ウッドベース/弓					
2	10月9日	ウォーキングベースラインの組み立てー2 2beat～4beat					
3	10月12日	ウォーキングベースライン(1フィンガー) “Walk Between Raindrops”					
4	10月16日	ブルース形式(1or2フィンガー) “Stormy Monday Blues”					
5	10月19日	スタッカート/テヌート、スライド “Stormy Monday Blues”					
6	10月23日	コード/アルペジオ(1or2フィンガー) “Hotel California”					
7	10月26日	弦をクロスしたピッキング “Hotel California”					
8	10月30日	変則チューニング “You Give Love a Bad Name”					
9	11月2日	ペントニック(パワーコード) “You Give Love a Bad Name”					
10	11月6日	ヴィブラート、ハンマリング、スライド(ピック) “Eat The Rich”					
11	11月9日	スラッピングとフィンガーの組み合わせ “Love Rollercoaster”					
12	11月13日	フレットレスベース “Everytime You Go Away”					
13	11月16日	ダブルストップ、ヴィブラート “Everytime You Go Away”					
14	11月20日	フィンガー(1. 2) “Layla”					
15	11月27日	スタッカート、曲の構成 “Layla”					
16	11月30日	サルサの曲でのアドリブ(インプロヴィゼーション)「Latin」					
17	12月4日	サルサの曲でのアドリブ(インプロヴィゼーション)「Latin」					
18	12月7日	2フィンガー “Sir Duke”					
19	12月14日	ユニゾンフレーズ “Sir Duke”					
20	12月18日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、2フィンガー) “What’s Going On”					
21	1月18日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、3フィンガー) “What’s Going On”					
22	1月22日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、4フィンガー) “What’s Going On”					
23	1月25日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、5フィンガー) “What’s Going On”					
24	1月29日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、6フィンガー) “What’s Going On”					
25	2月1日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、7フィンガー) “What’s Going On”					
26	2月5日	前期からの総復習を行う					
27	2月8日	前期からの総復習を行う					
28	2月12日	前期からの総復習を行う					
29	2月15日	定期試験の予告と復習を行う					
30	2月19日	定期試験の予告と復習を行う					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ドラム実習Ⅱ		担当講師		岸林 大輔	
講師実務経験		演奏家、ドラム講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ドラム専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		前期に修得した技術の発展、応用					
4期		実践、応用による安定した基礎技術の修得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	ガイダンス 前期修得技術の確認#1					
2	10月9日	前期修得技術の確認#2					
3	10月12日	Dr.Set Groove#1、セットコーディネーション#1 Rudiments Workout					
4	10月16日	Dr.Set Groove#2、セットコーディネーション#2 Rudiments Workout					
5	10月19日	Dr.Set Groove#3、セットコーディネーション#3 Rudiments Workout					
6	10月23日	Dr.Set Groove#4、セットコーディネーション#4 Rudiments Workout					
7	10月26日	Dr.Set Groove#5、セットコーディネーション#5 Rudiments Workout					
8	10月30日	Dr.Set Groove#6、セットコーディネーション#6 Rudiments Workout					
9	11月2日	Dr.Set Groove#7、セットコーディネーション#8 Rudiments Workout					
10	11月6日	Dr.Set Groove#8、セットコーディネーション#9 Rudiments Workout					
11	11月9日	Dr.Set Groove#9、セットコーディネーション#10 Rudiments Workout					
12	11月13日	Dr.Set Swing&World#1、セットコーディネーション#11 Rudiments Workout					
13	11月16日	Dr.Set Swing&World#2、セットコーディネーション#12 Rudiments Workout					
14	11月20日	Dr.Set Swing&World#3、セットコーディネーション#13 Rudiments Workout					
15	11月27日	Dr.Set Swing&World#4、セットコーディネーション#14 Rudiments Workout					
16	11月30日	Dr.Set Swing&World#5、セットコーディネーション#15 Rudiments Workout					
17	12月4日	Dr.Set Swing&World#6、セットコーディネーション#16 Rudiments Workout					
18	12月7日	Dr.Set Swing&World#7、セットコーディネーション#17 Rudiments Workout					
19	12月14日	Dr.Set Swing&World#8、セットコーディネーション#18 Rudiments Workout					
20	12月18日	Dr.Set Swing&World#9、セットコーディネーション#19 Rudiments Workout					
21	1月18日	Dr.Set Swing&World#10、セットコーディネーション#20 Rudiments Workout					
22	1月22日	Dr.Set Swing&World#11、セットコーディネーション#21 Rudiments Workout					
23	1月25日	Dr.Set Swing&World#12、セットコーディネーション#22 Rudiments Workout					
24	1月29日	Dr.Set Swing&World#13、セットコーディネーション#23 Rudiments Workout					
25	2月1日	Groove vs Swing #1、試験対策					
26	2月5日	Groove vs Swing #1、試験対策					
27	2月8日	Groove vs Swing #1、試験対策					
28	2月12日	Groove vs Swing #1、試験対策					
29	2月15日	Groove vs Swing #1試験対策					
30	2月19日	まとめ					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		作詞Ⅱ		担当講師		吉田 佳代	
講師実務経験		シンガーソングライター・作詞講師・ボイストレーナー					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現を修得。					
4期		構成のバランスに考慮し第三者に作品のテーマを表現する。詩的表現と推敲を修得。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	1番完成 ジャンルによる歌詞の特徴					
2	10月12日	2番完成 対句について					
3	10月19日	1番完成 呼びかけ法について					
4	10月26日	2番完成 個性的表現について					
5	11月2日	1番完成 アブストラクトについて					
6	11月9日	2番完成 時代を映す詞について					
7	11月16日	1番完成 造語にいて					
8	11月30日	2番完成 省略(言葉の重複について)					
9	12月7日	1番完成 語呂合わせについて					
10	12月14日	2番完成 象徴を用いた作品について					
11	1月18日	1番完成 常用漢字・当用漢字について					
12	1月25日	2番完成 出だしの重要性について					
13	2月1日	1番完成 アーティストに合わせた作品について					
14	2月8日	2番完成 作品のテーマを考える					
15	2月15日	1番2番完成 まとめ					
評価方法		実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		音楽基礎ⅡA				担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15	回	1回あたりの授業時間			135 分
期		修 得 目 標							
3期		スケールやコードの仕組みを修得する							
4期		より広く様々なコード進行を理解する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月6日	メジャーにおける主要和音、代理和音							
2	10月13日	メジャーにおける基本の終止形とその他の終止①							
3	10月20日	メジャーにおける基本の終止形とその他の終止②							
4	10月27日	コード進行分析①							
5	11月10日	コード進行分析②							
6	11月17日	マイナーの音階和音①							
7	11月24日	マイナーの音階和音②							
8	12月1日	マイナーにおける主要和音、代理和音							
9	12月8日	マイナーにおける実用的な和音							
10	12月15日	マイナーに於ける基本の終止形とその他の終止①							
11	1月19日	マイナーに於ける基本の終止形とその他の終止②							
12	1月26日	セカンダリドミナント①							
13	2月2日	セカンダリドミナント②							
14	2月9日	ドミナントの代理コード							
15	2月16日	総合的な復習							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		音楽基礎ⅡB				担当講師		谷津 祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	講義
期 間		3期・4期		総授業回数	15	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標							
3期		基本的なコード進行のしくみを理解した上で、意図的に活用する力を修得する							
4期		音楽の要素の多様性を理解した上で総合的な基礎知識を修得する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月6日	授業ガイダンス							
2	10月13日	コードの機能と進行について							
3	10月20日	基本コードパターン1 楽譜分析とアレンジ							
4	10月27日	基本コードパターン2 楽譜分析とアレンジ							
5	11月10日	基本コードパターン3 楽譜分析とアレンジ							
6	11月17日	基本コードパターン4 楽譜分析とアレンジ							
7	11月24日	基本コードパターン5 楽譜分析とアレンジ							
8	12月1日	複合的・応用的なコードパターンによる楽譜分析とアレンジ							
9	12月8日	ペンタトニックと派生するスケールについて							
10	12月15日	コードトーンとアボイドについて							
11	1月19日	モードについて							
12	1月26日	その他のスケールについて							
13	2月2日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ1							
14	2月9日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ2							
15	2月16日	コードパターン・スケール・転調など総合的な要素を含む曲作りとアレンジ3							
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		アンサンブルⅡ		担当講師	川畑統正/中田有紀/岸林大輔/松並姿帆	
講師実務経験		プロミュージシャン				
対象学年	1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		405 分
期		修 得 目 標				
3期		ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成。				
4期		より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上。				
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10月6日 10月7日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン1				
2	10月13日 10月14日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン2				
3	10月20日 10月21日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン3				
4	10月27日 10月28日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン4				
5	11月4日 11月10日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン5				
6	11月11日 11月17日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン6				
7	11月18日 11月24日	K－1ライブに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン7				
8	11月25日 12月1日	K－1ライブに向けた最終チェック①				
9	12月2日 12月8日	K－2ライブに向けた最終チェック②				
10	12月15日 12月16日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン1				
11	1月19日 1月20日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン2				
12	1月26日 1月27日	クリニックイベントに向けた楽曲の制作、バンドアンサンブルレッスン3				
13	2月2日 2月3日	クリニックイベントに向けた最終チェック①				
14	2月9日 2月10日	新入生歓迎ライブにむけて				
15	2月16日 2月17日	新入生歓迎ライブにむけて				
評価方法		実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト						
注意事項		135時間中46時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名		DTMⅡ				担当講師		谷津 祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師							
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻			授業形態	実習
期 間		3期・4期		総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標							
3期		前期の内容を基にさらに発展した操作を習得し、さまざまなジャンルの音楽についての基礎知識を習得する							
4期		これまでの学習内容を活用したアレンジ能力を習得する							
回数	日程	【授 業 計 画】							
1	10月8日	授業ガイダンス							
2	10月15日	コード入力について1							
3	10月22日	コード入力について2							
4	10月29日	ゴーストノートについて1							
5	11月5日	ゴーストノートについて2							
6	11月12日	様々なアレンジパターンについて1							
7	11月19日	様々なアレンジパターンについて2							
8	11月26日	様々なアレンジパターンについて3							
9	12月3日	様々なアレンジパターンについて4							
10	12月17日	様々なアレンジパターンについて5							
11	1月21日	様々なアレンジパターンについて6							
12	1月28日	アレンジ課題制作1							
13	2月4日	アレンジ課題制作2							
14	2月18日	アレンジ課題制作3							
評価方法		実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト									
注意事項		28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)							

科目名		Key実習				担当講師		水口 陽子		
講師実務経験		ピアノ講師								
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習		
期 間		3期・4期		総授業回数	6	回	1回あたりの授業時間		135	分
期		修 得 目 標								
3期		鍵盤上でコードやリズムを理解し、様々な奏法やジャンルを習得する								
4期										
回数	日程	【授 業 計 画】								
1	10月8日	ピアノストローク(8, 16)								
2	10月15日	色々なアルペジオ奏法								
3	11月5日	パラティロール(リズムのキメ)								
4	12月17日	リズムコンビネーション(リズムのキメ)								
5	1月21日	キーボードアンサンブル①								
6	2月4日	キーボードアンサンブル②								
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)								
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)								
テキスト										
注意事項		18時間中7時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)								

科目名		スコアⅡ			担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師						
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	7	回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標						
3期		性格なリズムや音の表記効率よく見やすい楽譜の作成						
4期		楽譜からのコードやリズムの理解						
回数	日程	【授 業 計 画】						
1	10月22日	進行譜、メロディー譜、歌詞カードなどの提出譜面について						
2	10月29日	移調、変わる調号、臨時記号などを理解						
3	11月12日	K－1Live提出譜面の準備、作成①						
4	11月19日	K－2Live提出譜面の準備、作成②						
5	11月26日	オープンのヴォイシングからのコード付け						
6	12月3日	大譜表からのコード付け						
7	1月28日	K－1Liveで担当した曲の譜面作						
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)						
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト								
注意事項		21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)						

科目名		ヴォーカル実習Ⅱ		担当講師		中田 有紀	
講師実務経験		ヴォーカルトレーナー					
対象学年		1 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		4度～5度までのオルタードを含んだメロディを修得する					
4期		ピッチ、リズム、ブレス等各自に合った歌い方でのソルフェージュを修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	5度ソルフェージュ(メジャースケール)					
2	10月9日	5度ソルフェージュ(メジャースケール)、個別での歌唱					
3	10月12日	5度ソルフェージュ(マイナースケール)					
4	10月16日	5度ソルフェージュ(マイナースケール)、ハーモニー付					
5	10月19日	子音の発音(R. L. V. T. 等)、リエゾン、ブレス					
6	10月23日	録音などしながら、評価しあう					
7	10月26日	さらにハーモニー等つけ、コーラスワークを学ぶ					
8	10月30日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)					
9	11月2日	4度ソルフェージュ(メジャースケール)、個別での歌唱					
10	11月6日	開く母音、閉じる母音、無声音、有声音					
11	11月9日	コーラスワーク、マイクワーク					
12	11月13日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)					
13	11月16日	4度ソルフェージュ(マイナースケール)、個別での歌唱					
14	11月20日	オリジナル曲メイク、マイクワーク等					
15	11月27日	オリジナル曲メイク、マイクワーク等					
16	11月30日	4度ソルフェージュ(オルタード)、半音階					
17	12月4日	8分、16分、シンコペーションの読み取り等					
18	12月7日	母音、鼻音、鼻濁音などのトレーニング					
19	12月14日	4度ソルフェージュ(オルタード)、半音階					
20	12月18日	シンコペーションを用いたリズムをハンドクラップ等しながら歌う					
21	1月18日	4度ソルフェージュ(オルタード)、自分に合ったキーで歌う					
22	1月22日	ソルフェージュを用いて、地声・ミドルボイス等の習得度合いの確認					
23	1月25日	3度ソルフェージュ(オルタード)を用いて正確に音程をとる					
24	1月29日	3度ソルフェージュ(オルタード)を用いてフレージングや声色を変化させる					
25	2月1日	エッジボイスで声帯閉鎖を意識し、加減をコントロールする					
26	2月5日	鼻腔共鳴を強く意識するトレーニング					
27	2月8日	英詞曲を用いて単語ごとでなく、より強くフレーズを意識して歌う					
28	2月12日	英詞曲を用いてコーラスもつけ、相手とのニュアンスを意識する					
29	2月15日	日本語曲を用いて、ビートに合わせたアクセントの位置、休符のつまりなどを意識する					
30	2月19日	課題曲を用いてフレーズ、ビートに合った声色、ニュアンスで歌う					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ギター実習Ⅱ		担当講師		川畑 統正	
講師実務経験		ギタリスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	ギター専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		1, 2期の内容をさらに深め、知識、技術面の基礎力を修得する。					
4期		これまでの基礎に様々な形で応用力、オリジナル性を付加していく力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	読譜トレーニング(毎回継続)					
2	10月9日	コードカッティング 8ビート～16ビートについて					
3	10月12日	コードカッティングの発展、応用について					
4	10月16日	スケール メジャー、マイナー					
5	10月19日	スケールの応用					
6	10月23日	スケールの応用Ⅱ					
7	10月26日	ハーモニックマイナースケール					
8	10月30日	メロディックマイナースケール					
9	11月2日	課題曲(ワンコード)によるリズムとスケールの実践					
10	11月6日	トライアド					
11	11月9日	トライアドの考え方の発展、応用					
12	11月13日	ブルース エクササイズ					
13	11月16日	ブルース エクササイズⅡ					
14	11月20日	ブルース エクササイズⅢ					
15	11月27日	ダイアトニックコードについて					
16	11月30日	アペイラブルノートスケールについて					
17	12月4日	コンピング solo					
18	12月7日	ミクソリディアンスケールについて					
19	12月14日	ドリアンスケールについて					
20	12月18日	オルタードスケール各種					
21	1月18日	ジャズ ブルース					
22	1月22日	ジャズ ブルースⅡ					
23	1月25日	ジャズ ブルースⅢ					
24	1月29日	ジャズ ブルースⅣ					
25	2月1日	スタイル研究Ⅰ					
26	2月5日	スタイル研究Ⅱ					
27	2月8日	スタイル研究Ⅲ					
28	2月12日	スタイル研究Ⅳ					
29	2月15日	Q&Aレクチャー					
30	2月19日	まとめ					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ベース実習Ⅱ		担当講師		田中 久雄	
講師実務経験		ベアシスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	ベース専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		プロ・ミュージシャンにとって必要とされるテクニック、理論、リズム、ハーモニー、グルーヴ、ラインメイク等の基礎技術を修得する。					
4期		基礎技術を基に、実際に演奏する技術を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	ウォーキングベースラインの組み立てー1 ウッドベース/弓					
2	10月9日	ウォーキングベースラインの組み立てー2 2beat～4beat					
3	10月12日	ウォーキングベースライン(1フィンガー) "Walk Between Raindrops"					
4	10月16日	ブルース形式(1or2フィンガー) "Stormy Monday Blues"					
5	10月19日	スタッカート/テヌート、スライド "Stormy Monday Blues"					
6	10月23日	コード/アルペジオ(1or2フィンガー) "Hotel California"					
7	10月26日	弦をクロスしたピッキング "Hotel California"					
8	10月30日	変則チューニング "You Give Love a Bad Name"					
9	11月2日	ペントニック(パワーコード) "You Give Love a Bad Name"					
10	11月6日	ヴィブラート、ハンマリング、スライド(ピック) "Eat The Rich"					
11	11月9日	スラッピングとフィンガーの組み合わせ "Love Rollercoaster"					
12	11月13日	フレットレスベース "Everytime You Go Away"					
13	11月16日	ダブルストップ、ヴィブラート "Everytime You Go Away"					
14	11月20日	フィンガー(1. 2) "Layla"					
15	11月27日	スタッカート、曲の構成 "Layla"					
16	11月30日	サルサの曲でのアドリブ(インプロヴィゼーション)「Latin」					
17	12月4日	サルサの曲でのアドリブ(インプロヴィゼーション)「Latin」					
18	12月7日	2フィンガー "Sir Duke"					
19	12月14日	ユニゾンフレーズ "Sir Duke"					
20	12月18日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、2フィンガー) "What's Going On"					
21	1月18日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、3フィンガー) "What's Going On"					
22	1月22日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、4フィンガー) "What's Going On"					
23	1月25日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、5フィンガー) "What's Going On"					
24	1月29日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、6フィンガー) "What's Going On"					
25	2月1日	同曲の2バージョンでグルーヴの相違(1、7フィンガー) "What's Going On"					
26	2月5日	前期からの総復習を行う					
27	2月8日	前期からの総復習を行う					
28	2月12日	前期からの総復習を行う					
29	2月15日	定期試験の予告と復習を行う					
30	2月19日	定期試験の予告と復習を行う					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ドラム実習Ⅱ		担当講師		岸林 大輔	
講師実務経験		演奏家、ドラム講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ドラム専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	30 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		前期に修得した技術の発展、応用					
4期		実践、応用による安定した基礎技術の修得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	ガイダンス 前期修得技術の確認#1					
2	10月9日	前期修得技術の確認#2					
3	10月12日	Dr.Set Groove#1、セットコーディネーション#1 Rudiments Workout					
4	10月16日	Dr.Set Groove#2、セットコーディネーション#2 Rudiments Workout					
5	10月19日	Dr.Set Groove#3、セットコーディネーション#3 Rudiments Workout					
6	10月23日	Dr.Set Groove#4、セットコーディネーション#4 Rudiments Workout					
7	10月26日	Dr.Set Groove#5、セットコーディネーション#5 Rudiments Workout					
8	10月30日	Dr.Set Groove#6、セットコーディネーション#6 Rudiments Workout					
9	11月2日	Dr.Set Groove#7、セットコーディネーション#8 Rudiments Workout					
10	11月6日	Dr.Set Groove#8、セットコーディネーション#9 Rudiments Workout					
11	11月9日	Dr.Set Groove#9、セットコーディネーション#10 Rudiments Workout					
12	11月13日	Dr.Set Swing&World#1、セットコーディネーション#11 Rudiments Workout					
13	11月16日	Dr.Set Swing&World#2、セットコーディネーション#12 Rudiments Workout					
14	11月20日	Dr.Set Swing&World#3、セットコーディネーション#13 Rudiments Workout					
15	11月27日	Dr.Set Swing&World#4、セットコーディネーション#14 Rudiments Workout					
16	11月30日	Dr.Set Swing&World#5、セットコーディネーション#15 Rudiments Workout					
17	12月4日	Dr.Set Swing&World#6、セットコーディネーション#16 Rudiments Workout					
18	12月7日	Dr.Set Swing&World#7、セットコーディネーション#17 Rudiments Workout					
19	12月14日	Dr.Set Swing&World#8、セットコーディネーション#18 Rudiments Workout					
20	12月18日	Dr.Set Swing&World#9、セットコーディネーション#19 Rudiments Workout					
21	1月18日	Dr.Set Swing&World#10、セットコーディネーション#20 Rudiments Workout					
22	1月22日	Dr.Set Swing&World#11、セットコーディネーション#21 Rudiments Workout					
23	1月25日	Dr.Set Swing&World#12、セットコーディネーション#22 Rudiments Workout					
24	1月29日	Dr.Set Swing&World#13、セットコーディネーション#23 Rudiments Workout					
25	2月1日	Groove vs Swing #1、試験対策					
26	2月5日	Groove vs Swing #1、試験対策					
27	2月8日	Groove vs Swing #1、試験対策					
28	2月12日	Groove vs Swing #1、試験対策					
29	2月15日	Groove vs Swing #1試験対策					
30	2月19日	まとめ					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		イベント制作Ⅱ		担当講師		片岡 朋子	
講師実務経験		イベント制作会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	演習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		180 分
期		修 得 目 標					
3期		「K－1ライブ」の実施を通し、イベント企画・制作・運営の基礎を修得する					
4期		「新入生歓迎ライブ」「定期公演」の実施に向け、イベント企画・制作・運営の応用を修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス／イベント制作の仕組みについて					
2	10月12日	「K－1ライブ」実施目的、実施内容、スタッフの役割について					
3	10月19日	「K－1ライブ」役割分担、運営スケジュールについて					
4	10月26日	「K－1ライブ」企画会議					
5	11月2日	「K－1ライブ」企画まとめ					
6	11月9日	「K－1ライブ」資料作成開始					
7	11月16日	「K－1ライブ」資料作成／進捗状況報告／問題点抽出／打合せ					
8	11月30日	「K－1ライブ」資料作成／進捗状況報告／問題点抽出／打合せ					
9	12月7日	「K－1ライブ」実施に向けた最終打合せ					
10	12月14日	「K－1ライブ」反省会／資料まとめ					
11	1月18日	「K－1ライブ」／報告書作成					
12	1月25日	イベントスケジュールの組み立て方について／各セッションとの関わり方について					
13	2月1日	「新入生歓迎ライブ」「定期公演」実施概要説明／実施計画					
14	2月8日	「新入生歓迎ライブ」「定期公演」役割分担／運営スケジュール計画					
15	2月15日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		※実技修得度評価時期・方法:都度					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		60時間中21時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		体カトレーニング		担当講師		MASA	
講師実務経験		ダンススタジオ勤務・ダンスインストラクター					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		集中力の修得					
4期		成功体験(自信)の修得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス・体カトレーニング					
2	10月12日	体カトレーニング					
3	10月19日	体カトレーニング					
4	10月26日	体カトレーニング					
5	11月2日	体カトレーニング					
6	11月9日	体カトレーニング					
7	11月16日	体カトレーニング					
8	11月30日	体カトレーニング					
9	12月7日	体カトレーニング					
10	12月14日	体カトレーニング					
11	1月16日	体カトレーニング					
12	1月25日	体カトレーニング					
13	2月1日	体カトレーニング					
14	2月8日	実技テスト					
15	2月15日	実技テスト・後期まとめ					
評価方法		実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		上靴、動きやすい格好					
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		プランニングⅡ		担当講師		横山 聡史	
講師実務経験		YOSAKOIソーラン祭札幌駅南口広場会場ディレクション・朗読舞台「悠久の自然アラスカ」札幌公演ディレクションほか					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		企画案が決定している前提で、実施案を制作する基礎を学ぶ。					
4期		企画から実施案作成までをグループで行い、ディレクター業務を極力実際の現場に近い形で体験的に学ぶ。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	実施案とは何か。企画案との違いと業務書類の種類を学ぶ。					
2	10月13日	実施案とは何か。企画案との違いと業務書類の種類を学ぶ。					
3	10月20日	実施案の作り方:全体スケジュール・当日プログラム					
4	10月27日	実施案の作り方:全体スケジュール・当日プログラム					
5	11月10日	実施案の作り方:備品リスト・広報計画					
6	11月17日	実施案の作り方:備品リスト・広報計画					
7	11月24日	実施案の作り方:MC台本1					
8	12月1日	実施案の作り方:MC台本1					
9	12月8日	実施案の作り方:MC台本2					
10	12月15日	実施案の作り方:MC台本2					
11	1月19日	実施案の作り方:会場の選定方法・下見の重要性					
12	1月26日	実施案の作り方:会場の選定方法・下見の重要性					
13	2月2日	実施案の作り方:音響・照明ほか、スタッフとの協調の重要性					
14	2月9日	実施案の作り方:音響・照明ほか、スタッフとの協調の重要性					
15	2月16日	まとめ:企画案と実施案の違い、重要性、スタッフ協調のためにディレクターがなすべきこと					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		PA基礎実習Ⅱ		担当講師		田上 涼	
講師実務経験		ライブハウス勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	実習
期 間		3期4期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		PAの基本作業の習得					
4期		スタンドスピーカーシステムで、インストアライブができる状態までを習得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日 10月13日	授業ガイダンス					
2	10月20日 10月27日	ケーブル巻きと、マイクスタンドの取り扱いの復習					
3	11月10日 11月17日	卓の使い方を理解する					
4	11月24日 12月1日	楽器を知る①(Dr、Gt)					
5	12月8日 12月15日	楽器を知る②(Ba、AG、Key)					
6	1月19日 1月26日	スピーカーシステムと楽器をセッティングし、実際に音を出してみる					
7	2月2日 2月9日	授業の復習、試験対策①					
8	2月16日	授業の復習、試験対策②					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		DTP実習Ⅱ		担当講師		金田一 樹生	
講師実務経験		広告制作会社に勤務後独立					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		広告を制作するための基本的な知識の取得					
4期		考えたものを形にする力を養う					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日 10月13日	レイアウトについて					
2	10月20日 10月27日	配色について					
3	11月10日 11月17日	ビジュアルについて					
4	11月24日 12月1日	文字組について					
5	12月8日 12月15日	名刺制作1					
6	1月19日 1月26日	名刺制作2					
7	2月2日 2月9日	名刺制作3					
8	2月16日	名刺制作4					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		ビジネスマナー		担当講師		木下 有希	
講師実務経験		マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		「サービス接遇実務検定3級」の合格を目標とする。					
4期		サービス接遇実務について理解を持ち、一般的なサービスを行うのに必要な知識、技能を身に付け、コンサート・イベントの制作スタッフや社会人に必要なマナーを習得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月7日	授業ガイダンス サービス接遇検定について					
2	10月14日	検定対策					
3	10月21日	検定対策					
4	10月28日	検定対策					
5	11月4日	検定対策					
6	11月11日	検定の振り返り					
7	11月18日	社会常識					
8	11月25日	一般知識について					
9	12月2日	サービス知識について					
10	12月16日	接遇知識について					
11	1月20日	話し方・敬語表現					
12	1月27日	環境整備について					
13	2月3日	金品の授受について					
14	2月10日	社交儀礼について					
15	2月17日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		舞台演出 I		担当講師		立川 佳吾	
講師実務経験		トランク機械シアターでの作品を中心に、演出を行っている。					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	演習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		声と身体を使って表現できるようになる					
4期		演出をすることで、相手や本の魅力を引き出せるようになる					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月7日	授業ガイダンス					
2	10月14日	演劇のワークショップを体験してみよう					
3	10月21日	声と身体で表現してみよう1					
4	10月28日	声と身体で表現してみよう2					
5	11月4日	K1ライブ準備					
6	11月11日	K1ライブ準備					
7	11月18日	K1ライブ準備					
8	11月25日	K1ライブ準備					
9	12月2日	代講・他己紹介をつくる					
10	12月16日	他己紹介の発表					
11	1月20日	舞台用語の説明					
12	1月27日	短編戯曲を読んでみる					
13	2月3日	短編戯曲を演じてみる					
14	2月10日	短編戯曲を演出してみる					
15	2月17日	試験準備					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		アーティストプロモーションⅠ		担当講師		齋藤 晶子	
講師実務経験		イベンター・レコード会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		コンサートや音楽イベントのしくみ、仕事の役割等、アーティストまわりの仕事を知る					
4期		音楽業界事情をいまを知り、最新のアーティストプロモーションを修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月7日	授業ガイダンス					
2	10月14日	音楽業界のしくみを学ぶ①(音楽プロダクション、レコード会社、イベンター、コンサート制作会社)					
3	10月21日	音楽業界のしくみを学ぶ②(音楽と媒体の関係性)					
4	10月28日	仕事を知る①(音楽プロダクション、レコード会社 の仕事の種類、名称、役割)					
5	11月4日	仕事を知る②(マネージメント(音楽プロダクション)の仕事 とは)					
6	11月11日	仕事を知る③(プロモーション(レコード会社)の仕事 とは)					
7	11月18日	仕事を知る④(イベンター、コンサート制作会社 の仕事の種類、名称、役割)					
8	11月25日	仕事を知る⑤(コンサートホールとライブハウスのちがい)					
9	12月2日	野外フェスティバルを学ぶ①(「FUJI ROCK FES」「RISING SUN ROCK FESTIVAL」「JOIN ALIVE」「ROCK IN JAPAN FES」他)					
10	12月16日	野外フェスティバルを学ぶ②(野外という特殊な環境でのライブイベントを 作る／楽しむ)					
11	1月20日	最近の音楽業界事情について学ぶ①(最近の音楽の聞かれ方(消費のされかた)					
12	1月27日	最近の音楽業界事情について学ぶ②(プロモーションにおけるSNSの活用法、注意点)					
13	2月3日	最近の音楽業界事情について学ぶ③(音楽業界が注目していること)					
14	2月10日	音楽業界へ進むために今から準備したいこと(気持ち／人との関わり方／趣味を極める／雑学)					
15	2月17日	3期・4期のまとめ／定期試験対策					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		15回中6回の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		制作実習Ⅰ		担当講師		片岡 朋子	
講師実務経験		イベント制作会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		現場における制作の役割及び進行方法を実践をもって修得する					
4期		ライブ実践を通して各セクションの仕事内容を理解し、制作進行の一連の流れを修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月8日 10月15日	授業ガイダンス 現場における各セクションの仕事内容及び流れについて／Kissホール使用方法について					
2	10月22日 10月29日	ライブ実習のスケジュールについて／舞台監督の仕事					
3	11月5日 11月12日	ライブ実習時の進行の仕事／ケータリングの仕事、備品確認					
4	11月26日 12月3日	ライブ実践①					
5	11月19日 12月17日	ライブ実習の振り返り／「K-1ライブ」を終えてのイベント研究					
6	1月21日 1月28日	ライブ実践②					
7	2月4日 2月18日	ライブ実践③ / 定期試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:ライブ実践①、②、③実施時					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		パソコン実習Ⅱ		担当講師		菊池 亮太	
講師実務経験		広告代理店勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		パソコンの基本操作、Officeの基本の習得、検定対策					
4期		パソコンの基本・応用操作、Officeの基本・応用の習得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス					
	10月12日	前期の復習					
2	10月19日	Word検定対策①					
	10月26日	Excel:よく使用する関数① PowerPoint:スライドの作成方法を習得①					
3	11月2日	Word検定対策②					
	11月9日	Excel:よく使用する関数② PowerPoint:スライドの作成方法を習得②					
4	11月16日	Word検定対策③					
	11月30日	Excel:論理関数① PowerPoint:スライドの作成方法を習得③					
5	12月7日	Word文書作成・応用①					
	12月14日	Excel:実践演習① PowerPoint:実践演習①					
6	1月18日	Word文書作成・応用②					
	1月25日	Excel:実践演習② PowerPoint:実践演習②					
7	2月1日	Word文書作成・応用③					
	2月8日	Excel:実践演習③ PowerPoint:実践演習③					
8	2月15日	Word、Excel課題					
評価方法		実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間以上の欠席で進級できません(留年となります)					

科目名		CAD実習 I		担当講師	佐藤 直子	
講師実務経験		建築士、インテリアコーディネーター				
対象学年	1 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	実習
期 間	3期・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標					
3期		PCとソフトの基本操作を修得する				
4期		CADの操作性と図面についての基礎知識を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	10/8.15	授業ガイダンス				
2	10/22.29	各ツールについて(課題)				
3	11/5.12	原寸図製作-1(課題)				
4	11/19.26	原寸図製作-2(課題				
5	12/3.17	レイヤーについて(課題)				
6	1/21.28	図面(平面.展開.立面.正面.側面)について				
7	2/4.18	立体について(3D)(課題)				
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト						
注意事項		21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名		就職ガイダンス		担当講師		片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験		イベント制作会社勤務/音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		企業情報を収集し、就職計画を立てる。 応募書類を理解し、受験に備える。					
4期		一般常識を学び、受験に備える。 受験企業の求人情報を収集し、エントリーを開始する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	企業情報収集の仕方／企業情報提供1					
2	10月16日	就職活動計画の立て方					
3	10月23日	就職活動計画書作成					
4	10月30日	OB講話 ※OB来校					
5	11月6日	身だしなみについて(履歴書写真、面接時の身だしなみ)					
6	11月13日	応募書類について1					
7	11月20日	応募書類について2					
8	11月27日	業界研究／企業情報提供2					
9	12月4日	就職活動冊子(自己PR文)作成					
10	12月18日	就職活動冊子(自己PR文)作成～完成					
11	1月22日	OB講話 ※OB来校					
12	1月29日	就職活動計画見直し					
13	2月5日	筆記試験対策(一般常識)					
14	2月12日	筆記試験対策(適正検査)					
15	2月19日	面接対策					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		15回中6回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		就職活動講座Ⅰ		担当講師		木下 有希	
講師実務経験		マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		履歴書の作成方法を学び、就職に備える。					
4期		就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	志望動機作成のポイント					
2	10月16日	志望動機作成					
3	10月23日	履歴書作成のポイント					
4	10月30日	エントリーシートについて①					
5	11月6日	エントリーシートについて②					
6	11月13日	書類の送り方					
7	11月20日	敬語のマナー					
8	11月27日	敬語のマナー					
9	12月4日	電話のマナー					
10	12月18日	メールのマナー					
11	1月22日	企業訪問、企業説明会について					
12	1月29日	お礼状の書き方					
13	2月5日	就職試験について					
14	2月12日	面接について					
15	2月19日	グループディスカッション					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		15回中6回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		音響概論Ⅱ		担当講師		田上 涼	
講師実務経験		ライブハウス勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		K-1ライブに向けて、転換ライブイベントのプラン概要を習得					
4期		新入生歓迎ライブに向けて、回線表のプランニング概要を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月1日	K-1ライブについて①(概要を説明)					
2	10月12日	K-1ライブについて②(ポジション説明、役割分担)					
3	10月19日	K-1ライブについて③(回線表について)					
4	10月26日	ライブ実習に向けたプランニング①					
5	11月2日	K-1ライブについて④(K-1回線表の確認)					
6	11月9日	K-1ライブについて⑤(転換プランを考える)					
7	11月16日	K-1ライブについて⑥(台本に沿ったオペレート)					
8	11月30日	K-1ライブについて⑧(それぞれポジションの進捗確認、転換プラン確認)					
9	12月7日	K-1ライブについて⑨(最終確認)					
10	12月14日	K-1ライブ⑩(反省)					
11	1月18日	新入生歓迎ライブについて①(役割分担)					
12	1月25日	ライブ実習のプランニング②					
13	2月1日	ライブ実習のプランニング③					
14	2月8日	新入生歓迎ライブについて②(ポジションごとの進捗、回線表について)					
15	2月15日	授業の復習と定期試験対策					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		機材概論 I		担当講師		斎藤 康次/千葉 諭	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		マイクロフォン、D.I.に関する各スペックについて修得する。					
4期		ワイヤレスマイク、インイヤーモニター、デジタルコンソール等の基礎知識を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス					
2	10月12日	マイクロフォンの種類と特性					
3	10月19日	D.I.の種類と特性					
4	10月26日	校内にある機材のスペックを知る 各スペックの見方					
5	11月2日	ケーブルの種類と特性					
6	11月9日	ミキサーの種類と特性					
7	11月16日	電気の知識とテスターの使用法					
8	11月30日	ブロックダイアグラムについて					
9	12月7日	FXの種類と基礎知識					
10	12月14日	ワイヤレスマイクやインナーイヤーモニター					
11	1月18日	パワーアンプの種類と特性					
12	1月25日	スピーカーの種類と特性					
13	2月1日	校内にある機材のスペックを知る 各スペックの見方					
14	2月8日	デジタルコンソールの概要					
15	2月15日	試験対策					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		舞台音響技術概論Ⅰ		担当講師		梶野 泰範 / 千葉 諭	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		舞台の基礎知識、電気の基礎知識などを、舞台機構調整技能士筆記試験内容に沿う形で学び、習得する					
4期		音楽、楽器、ミキシングテクニック、関係法規の知識などを、舞台機構調整技能士筆記試験内容に沿う形で学び、習得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	舞台一般の知識、劇場、舞台の種類、歴史を学ぶ					
2	10月13日	舞台機構設備、照明設備、舞台運行設備、映像設備の基礎知識を学ぶ					
3	10月20日	各セクションにおける舞台用語を学ぶ					
4	10月27日	音響の基礎知識、音の物理的知識、聴覚に関する知識を学ぶ					
5	11月10日	電気理論、電気回路、及びデバイスの基礎知識を学ぶ					
6	11月17日	電源設備、電気計器の基礎を学ぶ					
7	11月24日	室内音響の基礎知識、特性、測定に関する知識を学ぶ					
8	12月1日	音源の基礎、声、楽器の知識を学ぶ					
9	12月8日	音楽の基礎を学ぶ					
10	12月15日	音響機器の種類、構造、機能及び用途を学ぶ。					
11	1月19日	ミキシング技術及びデザインの知識、音楽ジャンルにおけるテクニックの知識を学ぶ					
12	1月26日	関係法規、安全衛生の知識を学ぶ					
13	2月2日	学科試験の傾向と対策の確認を行う					
14	2月9日	学科試験のシュミレーションを行う					
15	2月16日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		照明基礎実習Ⅱ		担当講師		向出 敦子	
講師実務経験		照明会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		基本的な前期の復習と操作卓の取り扱い方法を修得する。					
4期		基本的な操作卓の取り扱い方法を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日 10月13日	授業ガイダンス。使用する機材等のメンテナンス方法を修得する。					
2	10月20日 10月27日	前期の復習					
3	11月10日 11月17日	照明卓、信号の流れについて					
4	11月24日 12月1日	音と照明のリンクについて					
5	12月8日 12月15日	婚礼照明について①					
6	1月19日 1月26日	婚礼照明について②					
7	2月2日 2月9日	総括、まとめ①					
8	2月16日	総括まとめ②					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		15回中6回の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		舞台機構調整 I		担当講師		梶野 泰範 / 千葉 諭	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	実習
期 間		3・4期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		舞台機構調整技能士実技試験の概要を理解し、模擬を重ねて作業に慣れる					
4期		舞台機構調整技能士要素試験の概要を理解し、模擬を重ねて感覚を養う					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10/6,13	実技試験の概要を確認。作業行程を覚える					
2	10/20,27	実技試験の模擬を繰り返し、各作業の重要ポイントを把握する①					
3	11/10,17	実技試験の模擬を繰り返し、各作業の重要ポイントを把握する②					
4	11/24,12/1	実技試験と同条件で作業を行う①					
5	12/8,15	実技試験と同条件で作業を行う②					
6	1/19,26	要素試験の概要を確認し、楽器音、外観、名称を覚える					
7	2/2,9	色々な音楽を聴き、バランスや音質、楽器の編成などを聴き分ける感覚を養う					
8	2月16日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		PA実習ⅡA		担当講師		田上 涼/一岡 永	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		【修 得 目 標】					
3期		基本的なバンド編成のライブセッティングを組み上げる技術を修得する。					
4期		ライブ本番を経験し、ライブセッティングにおける環境調整技術を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月7日	授業ガイダンス/スピーカーシステムについて					
	10月14日						
2	10月8日	ステージ上のバンドセッティングについて					
	10月15日						
3	10月21日	ハウスシステムのセットアップについて					
	10月28日						
4	10月22日	モニターシステムのセットアップについて					
	10月29日						
5	11月4日	総合的なバンドセッティングについて①					
	11月11日						
6	11月5日	総合的なバンドセッティングについて②					
	11月12日						
7	11月18日	ステージ転換作業について①					
	12月16日						
8	11月19日	ステージ転換作業について②					
	12月17日						
9	11月25日	LIVEセッティング実践①					
	12月2日						
10	11月26日	LIVE実践①					
	12月3日						
11	1月20日	LIVEセッティング実践②					
	1月27日						
12	1月21日	LIVE実践②					
	1月28日						
13	2月3日	LIVEセッティング実践③					
	2月17日						
14	2月4日	LIVE実践③					
	2月18日						
15	2月10日	デジタルコンソールについて					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		84時間中28時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		PA実習ⅡB		担当講師		斎藤 康次/千葉 諭	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	8 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		ライブにおける、基本的なオペレート技術を修得する。					
4期		イコライザー、リバーブ、ダイナミクスエフェクトに関する基礎技術を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10/7./14	授業ガイダンス					
2	10/21./28	AUXを使用してのFXの使用法やモニタリング(表返し)について					
3	11/4./11	モニターシステムの把握					
4	11/18./12/2	LIVEでの作業の流れを把握					
5	11/25.12/16	MIXバランスについて					
6	1/20./27	マイキング、EQでの音作り、リバーブの活用方法について					
7	2/3./10	試験対策					
8	2月17日	総合的な実践練習					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		48時間中17時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ローディー実習		担当講師		斎藤 康次/千葉 諭	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		ドラムセットのセッティング技術を修得する。					
4期		エレキベース、エレキギター、アコースティックギターのセッティングを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月8日 10月15日	授業ガイダンス					
2	10月22日 10月29日	ドラムセットの各部名称や基本セッティングについて					
3	11月5日 11月12日	ドラムセットのセッティング練習					
4	11月19日 12月3日	E・ギター、A・ギター、E・ベースの各部名称や基本セッティングについて					
5	11月26日 12月17日	E・ギター、A・ギター、E・ベースのセッティング練習					
6	1月21日 1月28日	ドラム、ギター、ベースのチューニングやヘッド交換、弦交換					
7	2月4日 2月18日	試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		就職ガイダンス		担当講師		片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験		イベント制作会社勤務/音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		企業情報を収集し、就職計画を立てる。 応募書類を理解し、受験に備える。					
4期		一般常識を学び、受験に備える。 受験企業の求人情報を収集し、エントリーを開始する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	企業情報収集の仕方／企業情報提供1					
2	10月16日	就職活動計画の立て方					
3	10月23日	就職活動計画書作成					
4	10月30日	OB講話 ※OB来校					
5	11月6日	身だしなみについて(履歴書写真、面接時の身だしなみ)					
6	11月13日	応募書類について1					
7	11月20日	応募書類について2					
8	11月27日	業界研究／企業情報提供2					
9	12月4日	就職活動冊子(自己PR文)作成					
10	12月18日	就職活動冊子(自己PR文)作成～完成					
11	1月22日	OB講話 ※OB来校					
12	1月29日	就職活動計画見直し					
13	2月5日	筆記試験対策(一般常識)					
14	2月12日	筆記試験対策(適正検査)					
15	2月19日	面接対策					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		15回中6回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		就職活動講座Ⅰ		担当講師		木下 有希	
講師実務経験		マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		履歴書の作成方法を学び、就職に備える。					
4期		就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	志望動機作成のポイント					
2	10月16日	志望動機作成					
3	10月23日	履歴書作成のポイント					
4	10月30日	エントリーシートについて①					
5	11月6日	エントリーシートについて②					
6	11月13日	書類の送り方					
7	11月20日	敬語のマナー					
8	11月27日	敬語のマナー					
9	12月4日	電話のマナー					
10	12月18日	メールのマナー					
11	1月22日	企業訪問、企業説明会について					
12	1月29日	お礼状の書き方					
13	2月5日	就職試験について					
14	2月12日	面接について					
15	2月19日	グループディスカッション					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト							
注意事項		15回中6回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		音楽Ⅰ		担当講師		鈴木 雅光	
講師実務経験		イベント制作会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		1年前期の復習も兼ね、音楽と照明の関わりについて習得する。					
4期		楽曲の符割の手順を理解し、符割の仕方を習得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス					
2	10月12日	コンサートの仕組み(照明の役割)、楽器について					
3	10月19日	演奏配置について					
4	10月26日	楽器の大別について					
5	11月2日	音楽ジャンルについて#1					
6	11月9日	音楽ジャンルについて#2					
7	11月16日	五線・小節線、音部記号、音符の種類・音符・休符について#1					
8	11月30日	音符・休符について#2					
9	12月7日	拍子について#1					
10	12月14日	拍子について#2					
11	1月18日	リハーサルマーク、演奏記号等について#1					
12	1月25日	演奏記号等について#2					
13	2月1日	譜割の手順について					
14	2月8日	譜割練習					
15	2月15日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		28時間中10時間以上の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		照明工学Ⅱ		担当講師		竹平 耕一	
講師実務経験		放送関連会社勤務、照明デザイナー					
対象学年		1 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		舞台やテレビの照明機器などの基礎知識を修得する。					
4期		テレビ照明の基礎知識・技法を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス					
2	10月12日	照明器具の種類と構造について					
3	10月19日	電球の種類と構造・特性・色調などについて					
4	10月26日	調光機器の歴史や操作卓・調光器について					
5	11月2日	カラーフィルターの歴史と種類について					
6	11月9日	色温度変換・ディフージョン・他のフィルターについて					
7	11月16日	電源の種類と概要、仮設電源と注意点について					
8	11月30日	プランニング上での照明機器について					
9	12月7日	プランニング上での各種フィルターについて					
10	12月14日	3期の復習・まとめ、ライブ実習(K-1ライブ12/11)の成果発表・解説					
11	1月18日	テレビ照明の目的・特徴について					
12	1月25日	テレビロケーションの照明機材について					
13	2月1日	テレビロケーションの技法について					
14	2月8日	テレビスタジオの照明昇降装置について					
15	2月15日	3期4期の総括および試験対策					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		電気Ⅱ		担当講師		山田 茂雄	
講師実務経験		電気設備施工会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		電気工事概論、第2種電気工事士資格修得までの基礎知識					
4期		電気工事士資格筆記試験に向けた一般試験対応の講義及び模擬試験					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス					
2	10月12日	パワーポイント映像による電気工事現場の仕事、舞台照明と電気工事の関連					
3	10月19日	プロジェクター映像による北海道の舞台建設現場の電気工事の実績例と安全について					
4	10月26日	プロジェクター映像による仮設ライブ会場の工事現場の電気工事の実績例と安全について					
5	11月2日	電線及び電気機器、配線器具について					
6	11月9日	電線及び電気機器、配線器具について					
7	11月16日	材料、工具について					
8	11月30日	工具、測定器について					
9	12月7日	筆記試験過去問題解析		名称と用途を覚える			
10	12月14日	筆記試験過去問題解析		名称と用途を覚える			
11	1月18日	筆記試験過去問題解析		名称と用途を覚える			
12	1月25日	筆記試験過去問題解析		名称と用途を覚える			
13	2月1日	金属管工事 筆記試験過去問題の解答解析					
14	2月8日	ケーブル工事 筆記試験過去問題の解答解析					
15	2月15日	筆記試験過去問題の解答解析					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		15回中6回の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		舞台照明Ⅱ		担当講師		笹出 将太	
講師実務経験		照明音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	17 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		ライブ実習やK-1ライブから、より実践的な基礎的実践力を修得する。					
4期		コミュニケーション能力やチームとしての仕事の進め方、安全意識を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	授業ガイダンス/アナログとデジタルについて					
2	10月13日	照明卓と各役割について					
3	10月20日	仕込応用について①					
4	10月27日	仕込応用について②					
5	11月5日	イメージから表現について					
6	11月10日	プランニングについて					
7	11月17日	基礎確認と応用をふまえた実践に向けての準備					
8	11月24日	ライブ実習準備、ライブ実習①					
	11月26日						
9	12月1日	ライブ実習準備、ライブ実習②					
	12月3日						
10	12月8日	K-1ライブ事前準備、本番に向けての最終確認の重要性と責任について					
11	12月15日	各ポジションについて①					
12	12月17日	各ポジションについて②					
13	1月19日	ライブ実習準備、ライブ実習③					
	1月21日						
14	1月26日	ライブ実習準備、ライブ実習④					
	1月28日						
15	2月2日	ライブ実習準備、ライブ実習⑤					
	2月4日						
16	2月9日	チームワークの重要性について					
17	2月16日	ライブ実習準備、ライブ実習⑥					
	2月18日						
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		15回中6回の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		TV照明 I		担当講師		近藤 薫	
講師実務経験		照明会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		様々な番組の照明パターンと手法を修得する。					
4期		様々な番組の照明パターンと手法を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月7日	授業ガイダンス 照明機材の種類と特徴、使い方について					
2	10月14日	人物撮影 1ショットの基本について①					
3	10月21日	人物撮影 1ショットの基本について②					
4	10月28日	人物撮影 1ショットの基本について③					
5	11月4日	ロケ時の2ショットの仕込み方①					
6	11月11日	ロケ時の2ショットの仕込み方②					
7	11月18日	対談番組 前クロスの仕込み方①					
8	11月25日	対談番組 前クロスの仕込み方②					
9	12月2日	対談番組 奥クロスの仕込み方①					
10	12月16日	対談番組 奥クロスの仕込み方②					
11	1月20日	対談番組 直線の仕込み方①					
12	1月27日	対談番組 直線の仕込み方②					
13	2月3日	情報番組 パネル前の仕込み方①					
14	2月10日	情報番組 パネル前の仕込み方②					
15	2月17日	情報番組 クロスの仕込み方①					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		CAD実習 I		担当講師		佐藤 直子	
講師実務経験		建築士、インテリアコーディネーター					
対象学年		1 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態	実習
期 間		3期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		CADの操作性と図面についての基礎知識					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月8日	授業ガイダンス					
2	10月15日	各ツールについて(課題)					
3	10月22日	原寸図製作-1(課題)					
4	10月29日	原寸図製作-2(課題					
5	11月5日	レイヤーについて(課題)					
6	11月12日	図面(平面.展開.立面.正面.側面)について					
7	11月19日	立体について(3D)(課題)					
		※変則授業日程					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		PA基礎実習Ⅱ		担当講師		久本 晃三	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		簡易PAシステムの基本的設置が出来るようになる					
4期		簡易PAシステムの設置 & 台本に沿ったオペレートが出来るようになる					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月15日	オリエンテーション、ケーブル巻き復習					
2	10月29日	PAコンソールの操作取り扱い等を理解					
3	11月12日	モニター、ハウススピーカーのチューニング方法等の理解					
4	11月26日	PAセクションにとって、サウンドチェック、モニターチェック、リハーサルの再確認					
5	12月17日	BGM、SEの送出(台本に沿ったオペレート)					
6	1月28日	台本に沿ってBGM,ナレーションのオペレート練習					
7	2月18日	台本に沿ってBGM,ナレーションのオペレート試験					
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		21時間中8時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		就職ガイダンス		担当講師		片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験		イベント制作会社勤務/音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		企業情報を収集し、就職計画を立てる。 応募書類を理解し、受験に備える。					
4期		一般常識を学び、受験に備える。 受験企業の求人情報を収集し、エントリーを開始する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	企業情報収集の仕方／企業情報提供1					
2	10月16日	就職活動計画の立て方					
3	10月23日	就職活動計画書作成					
4	10月30日	OB講話 ※OB来校					
5	11月6日	身だしなみについて(履歴書写真、面接時の身だしなみ)					
6	11月13日	応募書類について1					
7	11月20日	応募書類について2					
8	11月27日	業界研究／企業情報提供2					
9	12月4日	就職活動冊子(自己PR文)作成					
10	12月18日	就職活動冊子(自己PR文)作成～完成					
11	1月22日	OB講話 ※OB来校					
12	1月29日	就職活動計画見直し					
13	2月5日	筆記試験対策(一般常識)					
14	2月12日	筆記試験対策(適正検査)					
15	2月19日	面接対策					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		15回中6回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		就職活動講座Ⅰ		担当講師		木下 有希	
講師実務経験		マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		履歴書の作成方法を学び、就職に備える。					
4期		就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	志望動機作成のポイント					
2	10月16日	志望動機作成					
3	10月23日	履歴書作成のポイント					
4	10月30日	エントリーシートについて①					
5	11月6日	エントリーシートについて②					
6	11月13日	書類の送り方					
7	11月20日	敬語のマナー					
8	11月27日	敬語のマナー					
9	12月4日	電話のマナー					
10	12月18日	メールのマナー					
11	1月22日	企業訪問、企業説明会について					
12	1月29日	お礼状の書き方					
13	2月5日	就職試験について					
14	2月12日	面接について					
15	2月19日	グループディスカッション					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト							
注意事項		15回中6回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		就職ガイダンス		担当講師		片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験		イベント制作会社勤務/音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		企業情報を収集し、就職計画を立てる。 応募書類を理解し、受験に備える。					
4期		一般常識を学び、受験に備える。 受験企業の求人情報を収集し、エントリーを開始する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	企業情報収集の仕方／企業情報提供1					
2	10月16日	就職活動計画の立て方					
3	10月23日	就職活動計画書作成					
4	10月30日	OB講話 ※OB来校					
5	11月6日	身だしなみについて(履歴書写真、面接時の身だしなみ)					
6	11月13日	応募書類について1					
7	11月20日	応募書類について2					
8	11月27日	業界研究／企業情報提供2					
9	12月4日	就職活動冊子(自己PR文)作成					
10	12月18日	就職活動冊子(自己PR文)作成～完成					
11	1月22日	OB講話 ※OB来校					
12	1月29日	就職活動計画見直し					
13	2月5日	筆記試験対策(一般常識)					
14	2月12日	筆記試験対策(適正検査)					
15	2月19日	面接対策					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		15時間中6時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ビデオグラファー実践		担当講師		松田 健太郎	
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		ビデオグラファーとしての技術力と表現力の養成					
4期		クライアントワークの実践					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス(これまでの学びの振り返りと、後期実習内容の説明)					
2	10月12日	ビデオグラファーの作例鑑賞と、V-logの企画立案					
3	10月19日	撮影実習2(ロケーション撮影を行う)					
4	10月26日	編集作業(限られた時間内で作品を形にするトレーニング)					
5	11月2日	編集作業(テロップ&整音 & Youtube公開)					
6	11月9日	ビデオグラファーのための機材講座(スタジオ使用予定)					
7	11月16日	商品プロモーションビデオの企画とプレゼン					
8	11月30日	撮影実習3(商品PVの撮影)					
9	12月7日	編集作業(粗編集)					
10	1月18日	編集作業(テロップ&整音 & 試写)					
11	1月25日	編集作業(修正 & 仕上げ)					
12	2月1日	完成作品の公開、後期の振り返り					
13	2月8日	授業のまとめ					
14	2月15日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		無し					
注意事項		84時間中29時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		陸上特殊無線Ⅱ		担当講師		東峰 康二	
講師実務経験		映像制作会社 勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		国家資格 陸上特殊無線技士 2級を取得する為行う試験対策ゼミ。無線法規、無線工学の基礎知識を熟知し、過去問題から学ぶ。					
4期		国家試験の応用問題から問題の傾向を考え、国家試験合格を目指す。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	-授業ガイダンス- 国家資格の試験方法及び学ぶ方法・進め方					
2	10月13日	基礎・法規、工学～過去問題① 法規01A/工学01A 法規01B/工学01B解答方法解説					
3	10月20日	基礎・法規、工学～過去問題② 法規02A/工学02A 法規02B/工学02B解答方法解説					
4	10月27日	基礎・法規、工学～過去問題③ 法規03A/工学03A 法規03B/工学03B解答方法解説					
5	11月10日	基礎・法規、工学～過去問題④ 法規04A/工学04A 法規04B/工学04B解答方法解説					
6	11月17日	基礎・法規、工学～過去問題⑤ 法規05A/工学05A 法規05B/工学05B解答方法解説					
7	11月24日	基礎・法規、工学～過去問題⑥ 法規06A/工学06A 法規06B/工学06B解答方法解説					
8	12月1日	模擬試験					
9	12月8日	基礎・法規、工学～過去問題⑦ 法規07A/工学07A 法規07B/工学07B 解答方法解説					
10	12月15日	基礎・法規、工学～過去問題⑧ 法規08A/工学08A法規08B/工学08B解答方法解説					
11	1月19日	基礎・法規、工学～過去問題⑨ 法規09A/工学09A法規09B/工学09B 解答方法解説					
12	1月26日	基礎・法規、工学～過去問題⑩ 法規10A/工学10A 解答方法解説					
13	2月2日	試験直前試験対策及び模擬試験対策① 解答方法解説					
14	2月9日	試験直前試験対策及び模擬試験対策② 解答方法解説					
15	2月16日	国家試験解答(2021/2/13実施) 定期試験対策 免許申請及び資格使用の心得					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		無線従事者養成課程標準教科書 法規／無線工学、プリント配布					
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		スチール実習 I		担当講師		高橋 吉之	
講師実務経験		カメラ修理会社、写真撮影および編集会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		撮影者の意思、意図を自身で表現できるようにする カメラの種類と構造を理解し、メンテナンス方法を学ぶ					
4期		さまざまな表現手段、撮影方法を学ぶ 他者からの依頼、要求を表現できるようにする					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	ガイダンス、写真に求められるもの、使用するカメラの基本操作方法					
2	10月13日	フルオート、オートでの撮影方法、露出補正、フォーカスの合わせ方					
3	10月20日	撮影実習①屋外での撮影					
4	10月27日	絞り、シャッタースピードの効果と操作方法					
5	11月10日	撮影場面や、被写体ごとの撮影モードの使い分け					
6	11月17日	構図の種類、交換レンズの特徴と使い分け					
7	11月24日	撮影実習②屋内での撮影					
8	12月1日	光源の種類とホワイトバランス、ライブ撮影、ステージ撮影について					
9	12月8日	応用撮影①構図にこだわった撮影～線を意識して					
10	12月15日	これまでのまとめとレビュー					
11	1月19日	スチールカメラの歴史と構造、動画との関係について					
12	1月26日	明るさやホワイトバランスの意識的なコントロールと効果					
13	2月2日	応用撮影②明るさやカラーにこだわった撮影					
14	2月9日	撮影画像の評価方法、セレクトとレビュー					
15	2月16日	復習、試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		※実技習得度評価時期・方法:随時提出物および期末提出作品による					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		プリント都度配布					
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		MA実習 I		担当講師		田 莉子 和之	
講師実務経験		音楽・番組制作会社に勤務。 テレビ番組等、映像制作の音に携わる。					
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
3期		MAの概要を学習し、ビデオ制作における音声編集の基礎的な知識と技術を習得する。					
4期		動画にナレーション・効果音・音楽等の音声を録音・編集する事を実技体験し、基礎的な技術や知識を理解する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	授業ガイダンス／MAの概要・基礎的な知識について（1）					
2	10月13日	MAの概要・基礎的な知識について（2）					
3	10月20日	MAの概要・基礎的な知識について（3）					
4	10月27日	MA作業準備について					
5	11月10日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（1）					
6	11月17日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（2）					
7	11月24日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（3）					
8	12月1日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（4）					
9	12月8日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（5）					
10	12月15日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（6）					
11	1月19日	ナレーション・アフレコの収録 ／ 音楽や効果音の仕込みについて（7）					
12	1月26日	授業まとめ					
13	2月6日	実技習得度判定試験対策					
14	2月9日	実技習得度判定試験					
15	2月16日	試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		※実技習得度評価時期・方法:実技習得度判定試験の実施 *【授業計画】参照					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=留年となります					

科目名		ENG実習 I		担当講師		三浦 貴正	
講師実務経験		放送局勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		カメラ機材の取り扱い・カメラワーク等の基本的撮影技術を学ぶ。					
4期		カメラワーク等の撮影技術を学び、将来のキャリアに役立つ基本的な技術を習得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月7日	授業ガイダンス					
2	10月14日	撮影・取材の基礎					
3	10月21日	撮影・取材の基礎・・・カメラ操作の基礎					
4	10月28日	撮影・取材の基礎・・・カメラ操作の基礎					
5	11月4日	撮影・取材の基礎・・・カメラワーク					
6	11月11日	撮影・取材の基礎・・・カメラワーク					
7	11月18日	撮影・取材の基礎・・・カメラワーク					
8	11月25日	撮影実習（屋内）					
9	12月1日	撮影実習（屋内）					
10	12月16日	撮影実習（屋内）					
11	1月20日	撮影実習（屋内）					
12	1月27日	撮影実習（屋内）					
13	2月3日	撮影・取材の基礎・・・カメラワーク					
14	2月10日	評価対象実技試験実施					
15	2月17日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)、実技習得度(70%)平常点±10点（出席率、授業態度・取組状況など）					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		必要に応じてその都度、参考資料を配布する。					
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=留年となります					

科目名		Illustrator & Photoshop		担当講師		金田一 樹生	
講師実務経験		広告制作会社に勤務後独立					
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		Photoshopの基本操作の取得					
4期		Illustratorの基本操作の取得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月7日	授業ガイダンス、各ソフトでできること					
2	10月14日	Photoshopの基本操作①					
3	10月21日	Photoshopの基本操作②					
4	10月28日	Photoshopの基本操作③					
5	11月4日	Photoshopの基本操作④					
6	11月11日	写真素材の加工・合成①					
7	11月18日	写真素材の加工・合成②					
8	11月25日	自動処理					
9	12月2日	色の基本知識について					
10	12月16日	illustrator基礎①					
11	1月20日	illustrator基礎②					
12	1月27日	illustrator基礎③					
13	2月3日	illustrator基礎④					
14	2月10日	既存デザインのトレース①					
15	2月17日	既存デザインのトレース②					
評価方法		実技習得度(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		企画・制作Ⅱ		担当講師		河西 隆之	
講師実務経験		テレビ番組制作会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	5 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		番組の構成・台本の作り方を実践的に習得する①					
4期		番組の構成・台本の作り方を実践的に習得する②					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月15日	ガイダンス / 作品①の構成を作成					
2	10月22日	前回の構成をもとに作品①の台本を完成					
3	11月12日	班を組み直し作品②の企画立案・構成を作成					
4	11月19日	前回の構成をもとに作品②の台本を完成					
5	1月28日	班を組み直し、作品③の企画立案、構成・台本を完成					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		撮影実習Ⅱ		担当講師		田端 優一	
講師実務経験		放送局関連会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	4 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		番組制作に必要な撮影の基本テクニックを身につける。					
4期		ディレクターの指揮に基づいて撮影・収録を進めていき番組制作の流れを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月29日	ロケーション撮影及びスタジオ収録①（企画・制作Ⅱに沿った撮影機材の選定）					
2	11月26日	ロケーション撮影及びスタジオ収録②					
3	12月3日	ロケーション撮影及びスタジオ収録③					
4	2月4日	ロケーション撮影及びスタジオ収録④					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		資料配布					
注意事項		24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		編集実習Ⅲ		担当講師		岡 宏樹	
講師実務経験		映像制作会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	5 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		映像作品を完成させるまでの一連の流れを習得する					
4期		映像表現の実践的なテクニックを習得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月8日	Premiereの使い方について					
2	11月5日	作品制作Ⅰ編集(素材の取り込み～編集～完成)					
3	12月17日	作品制作Ⅱ①編集(素材の取り込み、編集、カラーコレクション)					
4	1月21日	作品制作Ⅱ②編集(テロップ、MA、完成)					
5	2月18日	作品制作Ⅲ編集(素材の取り込み～編集～完成)					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		30時間中11時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		就職活動講座 I		担当講師		木下 有希	
講師実務経験		マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		履歴書の作成方法を学び、就職に備える。					
4期		就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	志望動機作成のポイント					
2	10月16日	志望動機作成					
3	10月23日	履歴書作成のポイント					
4	10月30日	エントリーシートについて①					
5	11月6日	エントリーシートについて②					
6	11月13日	書類の送り方					
7	11月20日	敬語のマナー					
8	11月27日	敬語のマナー					
9	12月4日	電話のマナー					
10	12月18日	メールのマナー					
11	1月22日	企業訪問、企業説明会について					
12	1月29日	お礼状の書き方					
13	2月5日	就職試験について					
14	2月12日	面接について					
15	2月19日	グループディスカッション					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト							
注意事項		15時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		MA実習Ⅱ		担当講師		田 莉子 和之	
講師実務経験		音楽・番組制作会社に勤務。 テレビ番組等、映像制作の音に携わる。					
対象学年		1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		MA作業の理解と、付随する特殊用語の習熟、及び、音声・映像に関する知識を習得する。					
4期		音声編集、同期関係、作業の向上を目標とし、MA作業の知識と技能を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月5日	授業ガイダンス／MA作業準備について					
2	10月12日	MA作業準備 / 整音について					
3	10月19日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(1)					
4	10月26日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(2)					
5	11月2日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(3)					
6	11月9日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(4)					
7	11月16日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(5)					
8	11月30日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(6)					
9	12月7日	ナレーション・アフレコの収録 / 音楽や効果音の仕込みについて(7)					
10	12月14日	整音／ミックスダウンについて(1)					
11	1月18日	整音／ミックスダウンについて(2)					
12	1月25日	授業まとめ					
13	2月1日	実技習得度判定試験対策					
14	2月8日	実技習得度判定試験					
15	2月15日	試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		※実技習得度評価時期・方法:実技習得度判定試験の実施 *【授業計画】参照					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		90時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=留年となります					

科目名		ProTools実習 I		担当講師		金沢 琢司	
講師実務経験		レコーディングエンジニア					
対象学年		1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		ProToolsの概要についての知識を修得する。					
4期		ProToolsの応用についての知識を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	授業ガイダンス					
2	10月13日	ProToolsの概要(システムの概要・特徴)					
3	10月20日	オペレーション セッション トラック プラグイン					
4	10月27日	I/O設定 セッション・トラックの新規作成					
5	11月10日	レコーディングモードについて					
6	11月17日	オーディオの編集口					
7	11月24日	編集ツールについて					
8	12月1日	グループの作成と活用					
9	12月8日	ミックスの準備について口					
10	12月15日	ミックスの進め方					
11	1月19日	ProToolsシステム・シンク・MIDI					
12	1月26日	ProTools実践1 録音素材を使用しての応用編					
13	2月2日	ProTools実践2 録音素材を使用しての応用編					
14	2月9日	ProTools実践3 MIX素材を使用しての応用編口					
15	2月16日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ラジオ実習Ⅱ		担当講師		小林 雅和	
講師実務経験		広告代理店勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期・4期		ラジオ番組制作の流れを理解し学ぶ。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	授業ガイダンス					
2	10月13日	番組企画A考案					
3	10月20日	選曲、台本制作					
4	10月27日	収録リハーサル					
5	11月10日	だめ出し、本番収録、試聴					
6	11月17日	番組企画B考案					
7	11月24日	選曲、台本制作					
8	12月1日	収録リハーサル					
9	12月8日	だめ出し、本番収録、試聴					
10	12月15日	番組企画B考案					
11	1月19日	選曲、台本制作					
12	1月26日	収録リハーサル					
13	2月2日	だめ出し、本番収録、試聴					
14	2月9日	これまでの反省。総評。					
15	2月16日	試験対策					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		15回中6回の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		DTM実習I		担当講師		山口 真	
講師実務経験		ゲームメーカー サウンド開発部勤務経験、音楽/音効販売代理店および制作開発部勤務経験、フリーランス 音楽/音効制作業、翻訳含む文筆業					
対象学年		1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		DAW(Cubase)の基本操作、楽曲の構成、音色の仕組みの理解					
4期		VOCALOIDの操作/使用方法の理解、協業に関する基礎知識					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月6日	授業ガイダンス、Mac/PCの操作方法について					
2	10月13日	DTM、DAWとは;Cubaseの基本操作と実践、作業の効率化について					
3	10月20日	ソフト音源の基礎知識と実践					
4	10月27日	課題曲(1)の打ち込み;リアルタイム入力とクオンタイズについて					
5	11月10日	課題曲(1)の打ち込み;ステップ入力について					
6	11月17日	課題曲(1)の打ち込み;ループ素材を使用したサウンドメイク					
7	11月24日	VOCALOIDの原理と基本操作について					
8	12月1日	課題曲(1)の打ち込み;VOCALOIDの調声 ※課題提出					
9	12月8日	データのインポート/エクスポート、DAWごとの差異、分解能について					
10	12月15日	オーディオとMIDIの違いについて、オーディオフォーマットと品質について					
11	1月19日	Cubaseでのミックス、バウンス方法、ステム化について					
12	1月26日	設定ミスに起因するオーディオデータの問題について					
13	2月2日	課題曲(2)の作成;15秒程度のCMソングの作成 (分業する場合は、分業時に発生しうる問題を把握しクリアすること)					
14	2月9日	課題曲(2)の作成;15秒程度のCMソングの作成 (分業する場合は、分業時に発生しうる問題を把握しクリアすること)					
15	2月16日	課題曲(2)の作成;15秒程度のCMソングの完成、試験前の復習					
評価方法		作品提出評価(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
		※実技習得度評価時期・方法:(研修による公欠を除く全授業において)実習授業内で目視確認、2度の課題の品質による判断					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		SR技術概論Ⅱ		担当講師		金沢 琢司	
講師実務経験		レコーディングエンジニア					
対象学年		1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
3期		電気音響の基礎 音響機器の知識習得					
4期		録音技術の知識習得					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月7日	授業ガイダンス					
2	10月14日	デジタルの基礎					
3	10月21日	スタジオシステム					
4	10月28日	スタジオシステムの機器構成					
5	11月4日	スタジオの配線システム					
6	11月11日	スタジオで使われるコネクタ					
7	11月18日	マイクロフォン					
8	11月25日	ミキシングコンソール					
9	12月2日	I/Oモジュール					
10	12月16日	パッチベイ オートメーション					
11	1月20日	ダイナミクス系					
12	1月27日	センドリターン系					
13	2月3日	テープレコーダ					
14	2月10日	メータ バイアス					
15	2月17日	定期試験対策					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		45時間中16時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		REC実習Ⅱ		担当講師		金沢 琢司	
講師実務経験		レコーディングエンジニア					
対象学年		1 学年	対象専攻	スタジオサウンド専攻		授業形態	実習
期 間		3期・4期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間		270 分
期		修 得 目 標					
3期		スタジオ機材の概要についての知識を修得する。					
4期		ProToolsの応用についての知識を修得する。スタジオ機材の概要についての知識を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月8日	授業ガイダンス					
2	10月15日	スタジオシステム(コンソールの基本)					
3	10月22日	スタジオ機材の概要					
4	10月29日	スタジオシステム 結線(パッチ盤)の概要～応用					
5	11月5日	スタジオ機材の概要～イコライザー使い方					
6	11月12日	ダイナミックス(コンプレッサーの使い方)					
7	11月19日	ディレイ・リバーブの使い方					
8	11月26日	レコーディングシステムとProToolsHDXシステム構成についての概要～応用					
9	12月3日	ドラム基本セッティング(マイクセッティング・立ち上げ・ラインチェック)					
10	12月17日	ベース・ギター・Aギター基本セッティング(DI・ギターに合うマイク選定・オフマイク)					
11	1月21日	ヴォーカル基本セッティング(使い方とレベルバランス・Vo Compの使い方～Edit)					
12	1月28日	録音実践1(基本セッティングの構築、マイクプラン・アレンジ・立ち上げ)					
13	2月4日	録音実践2(基本セッティングの構築、マイクプラン・アレンジ・立ち上げ)					
14	2月18日	MIX実践1(コンソールを使つてのMIX作業の基本。アウトボードの使用)					
評価方法		定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		84時間中29時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		就職ガイダンス		担当講師		片岡 朋子/一岡 永	
講師実務経験		イベント制作会社勤務/音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		企業情報を収集し、就職計画を立てる。 応募書類を理解し、受験に備える。					
4期		一般常識を学び、受験に備える。 受験企業の求人情報を収集し、エントリーを開始する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	企業情報収集の仕方／企業情報提供1					
2	10月16日	就職活動計画の立て方					
3	10月23日	就職活動計画書作成					
4	10月30日	OB講話 ※OB来校					
5	11月6日	身だしなみについて(履歴書写真、面接時の身だしなみ)					
6	11月13日	応募書類について1					
7	11月20日	応募書類について2					
8	11月27日	業界研究／企業情報提供2					
9	12月4日	就職活動冊子(自己PR文)作成					
10	12月18日	就職活動冊子(自己PR文)作成～完成					
11	1月22日	OB講話 ※OB来校					
12	1月29日	就職活動計画見直し					
13	2月5日	筆記試験対策(一般常識)					
14	2月12日	筆記試験対策(適正検査)					
15	2月19日	面接対策					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		プリント配布					
注意事項		15回中6回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		就職活動講座Ⅰ		担当講師		木下 有希	
講師実務経験		マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組		授業形態	講義
期 間		3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間		45 分
期		修 得 目 標					
3期		履歴書の作成方法を学び、就職に備える。					
4期		就職活動ができる知識を与え、活動をサポートする。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	10月9日	志望動機作成のポイント					
2	10月16日	志望動機作成					
3	10月23日	履歴書作成のポイント					
4	10月30日	エントリーシートについて①					
5	11月6日	エントリーシートについて②					
6	11月13日	書類の送り方					
7	11月20日	敬語のマナー					
8	11月27日	敬語のマナー					
9	12月4日	電話のマナー					
10	12月18日	メールのマナー					
11	1月22日	企業訪問、企業説明会について					
12	1月29日	お礼状の書き方					
13	2月5日	就職試験について					
14	2月12日	面接について					
15	2月19日	グループディスカッション					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト							
注意事項		15回中6回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					